

「のぞみみらい子ども・若者応援基金」活動報告書

2025 年 1 月 9 日

公益財団法人長野県みらい基金

高橋 潤 理事長 様

所在地 〒390-1401
松本市波田 10242-5

団体名 ほっとくらぶ

代表者 代表 斉藤雅恵
職・氏名



「のぞみみらい子ども・若者応援基金」の助成事業が完了したため、下記のとおり報告します。

記

1 事業名

障がい児、者のためのクリスマス会

2 助成対象事業の実施期間

2024 年 6 月 28 日 ～ 2025 年 1 月 9 日

3 実施した取り組み

(この事業で具体的に行ったこと、誰に・いつ・どこで・何をどのように行ったのか)

医療的ケアのある障がい児、者とその家族のためのクリスマス会を 2024 年 12 月 7 日(土)に波田公民館 2 階の大会議室にて実施した。この会場は 2 階駐車場からストレッチャータイプの移動車でも入場ができて、松本市のインクルーシブセンター職員の協力もあり入場のドア管理をお願いすることができた。

会場にはグランドピアノも常設されており、豊嶋さおりさんによる絵本の読み聞かせや暗幕を利用してパネルシアターを楽しませていただくことができた。また以前のクリスマス会でピアノ伴奏でのコンサート出演者の根本さんが自ら指導されているふじみ・はら合唱クラブによるコンサートを提案していただき、中学生中心のクラブで、きれいな歌声を皆さんに届けることができた。会場の中で、すぐそばで読み聞かせやパネルシアターを演じていただき、一緒に大きな声を出して楽しみ、合唱では皆が知っているような歌を選んでもらい出席者全員が歌ったりしながら、澄んだ歌声を心から楽しめていた。その後は好きなケーキを選んで皆さんで食べながら、一言ずつお話しいただき、サンタクロースから参加者全員にプレゼントを配り喜んでいただいた。

4 得られた状態・成果

(この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたのか)

参加予定者の体調は不安であったが、今回は2組のみキャンセルであった。参加の皆さんは元気で、参加された全員の手形で作るクリスマスツリーも大きなものが完成した。障がい児がすぐ近くでお話しや音楽に触れ合う事ができ、医療的ケアがあってもご家族も一緒に聴いて楽しめる、同じような境遇の方々がいることで安心して楽しめる環境であった。毎年恒例で実施しているため参加するきょうだいもドレスアップして楽しんでいた。

また、波田公民館所有の災害時用の段ボールベットもお借りして、この機会に紹介して実際に体験していただき、その上にマットを置き、おむつ替え用、医療的ケアを実施できるベットとして利用していただくことができた。松本市のインクルーシブセンター職員の支援もあり、会場予約も円滑に行えて今回の段ボールベット体験も可能となった。合わせてフードパントリーからは災害食のアルファ米五目御飯をいただくことができたので、災害食として皆さんに持ち帰っていただくこともできた。

富士見町からは福祉貢献としてほっとくらぶの福祉団体としての評価をいただき、合唱クラブの皆さんの移動のためにバスを町から出していただくことができ、松本市在住の高齢の透析をされている祖父母にも参加していただけた。

いつも家族は障がい児、者のために頑張っておられるので、ささやかなプレゼントを参加者全員に準備して配布することができ、「まさかプレゼントを親までいただけるなんて」と喜ばれた。またケーキも注入食の方にも対応できるようお願いして、特別食のケーキを準備することができて、「まさかこの子も食べられるなんて思わなかった。ありがたい。」と感激されていた。

毎年音楽を生でお届けできるように、またご家族も含めて皆さんが喜んでいただけるような笑顔が多くみられ大成功であった。

5 基金設立者へのご報告（メッセージ）

医療的ケアがあり、ご家族が一緒になかなか落ち着いてイベント参加できない方々に、クリスマス会として絵本読み聞かせ、パネルシアター、合唱クラブの皆さんの歌声の提供など盛りだくさんの内容でお届け出来ました。美味しいケーキや手作りクッキーなどを提供できて、参加された皆様にプレゼントの準備もできました。ご支援いただいたことで素敵な時間を一緒に過ごすことができました。

助成金提供していただいた皆様心より感謝申し上げます。尚、残金 14,134 円は今後の活動に充てさせていただきます。

6 事業の実施状況を示す書類（別添）

- (1) 収支計算書（様式5） (2) 収支計算書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

手形クリスマスツリーづくり



クリスマス会のためドレスアップ



富士見町から素敵な歌声ありがとう♡



みんなで一緒に早めのメリークリスマス！！

サンタさんプレゼントありがとう



障がい児・者(重症心身障がい、医療的ケア児・者)と
その家族を支援する

ほっとくらぶ

クリスマス イベント

参加費

大人

1,000円

こども(障がい児・者含む)

500円

日時

12/7 土

13:00
開場

会場

波田公民館

2階 大会議室(住所:松本市波田4417-1)

13:00

会場デコレーション

★クリスマス
ツリー作り

★手形貼り
★飾りつけ

＼ご協力をお願いします／

活動
支援

プチバザール開催

代表の斉藤より
活動報告

13:30

ほっとくらぶお知らせ

13:40

クリスマスおはなし会

絵本・パネルシアターで楽しもう♪

絵本専門士 豊嶋 さおり

おはなしの会「すがのつくる」代表
「本と子どもの発達を考える会」所属

本と子どもの
発達を考える会

長野県立こども病院のおはなしボランティア
有志で2010年に結成。本を通して子どもの
いのちや育ちを応援する活動を続けている。

14:30

音楽コンサート開演

with 富士見町立
富士見中学合唱部

合唱による
社会貢献
活動として来て
くれました!

引率・ピアノ伴奏 根本 崇

国立音楽大学教育学科 幼児教育専攻卒業 声楽コース終了
にじいろむじか・にじいろ音楽教室主催
現 富士見中学合唱部の指導

15:00

ケーキタイム & サンタクロース登場

好きなケーキを選んでね!
サンタさんからプレゼントもあるよ!

15:30

終わりの会

参加して下さった皆さんから
ひと言ずつお願いします

16:00

解散予定

お申し込み

ほっとくらぶ申込フォームより

11月22日(金)までに お申し込みください ▶▶▶

問い合わせ先: 斉藤 雅恵 090-4009-2524 (メール hotma3hata@gmail.com)



★ *この活動は松本市より後援を受けています。 *長野みらい基金 2024年度「のぞみみらい子ども・若者応援基金」より助成を受けています。

「のぞみみらい子ども・若者応援基金」活動報告書

2025 年 1 月 14 日

公益財団法人長野県みらい基金
高橋 潤 理事長 様

所在地 〒390-0803
長野県松本市元町 3-8-23

団体名 やまびこラボ

代表者 渡辺裕紀子

職・氏名



「のぞみみらい子ども・若者応援基金」の助成事業が完了したため、下記のとおり報告します。

記

1 事業名

第四回こども（と大人）のためのさっきょくワークショップ

2 助成対象事業の実施期間

2024 年 12 月 27 日

～

2024 年 12 月 28 日

3 実施した取り組み

（この事業で具体的に行ったこと、誰に・いつ・どこで・何をどのように行ったのか）

日程:2024 年 12 月 27 日 (金) 14:00~16:00 / 28 日 (土) 10:00~12:00

会場:あがたの森文化会館

対象年齢:5 歳-小中学生

参加費:500 円 (当日現金支払い)

実施内容:「日常の音から音楽を作る」ための題材として、「公園で聞こえる音」にスポットを当てながら作曲を行いました。また長野ゆかりの若手演奏家を募集し、やまびこラボに加え、3 人のコラボレーター尾崎悠太 (ホルン)・上條春翔 (オーボエ)・柳沢耕吉 (ギター・作曲) ※上村愛はインフルエンザにより欠席 が、子どもたちとグループで創作を行いました。活動の実施時期が 12 月であったことから、「冬の音探し」を創作に導入とし、公園でワークシート (音探しビンゴ・音のレポート) を使った野外活動を行いました。さらに、室内では外で集めた音を図形などの形に変えて描き、最終的に楽器を用いたアンサンブルに挑戦することで、公園の音→形→音楽と変化していくプロセスを、参加者とコラボレーターが共に体験しました。

4 得られた状態・成果

(この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたのか)

本事業を通じて、子どもたちと若手演奏家が共に創造するクリエイティブな場を提供することができました。公募により集まった若手演奏家は、「先生」や「講師」という枠組みにとられず、子どもたちと対等なパートナーとして活動に参加したことによって、子どもたちは単に音楽を学ぶのではなく、サポートを受けながら自らが音楽を創り出し演奏するという貴重な体験を得ることができました。また、「公園の音に耳を澄ませる」という日常にある題材を出発点にしたことで、世代や音楽経験の差を感じさせず、小さな年齢のお子さんと同じ条件で「音を作り奏でる」ことができました。音を作るプロセスでは、参加者が普段見る機会のない珍しい楽器や生の音に触れ、音を介したコミュニケーションを通じて、実験的なアンサンブルに挑戦しました。これにより、子どもたちだけでなく演奏家側も創造的な刺激を受け、互いに音楽的な成長を受け合うことができました。この活動を通じて、音楽が地域の人々にとって特別なものではなく、日常生活の一部にあると感じられること、さらに若手演奏家たちにとっても地元でも活動を継続するための基盤を得ることができ、地域社会における音楽文化の循環に向けて一歩踏み出すことができました。新しい音楽が地域の文化として感じられる環境づくりへ向けて今後も継続して活動を行っていきたいと思います。

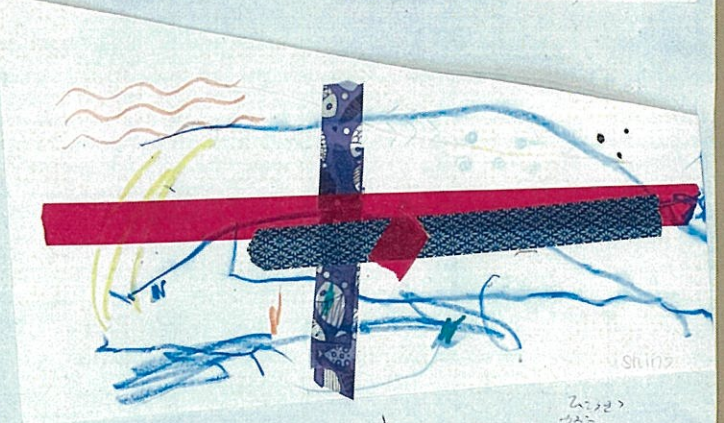
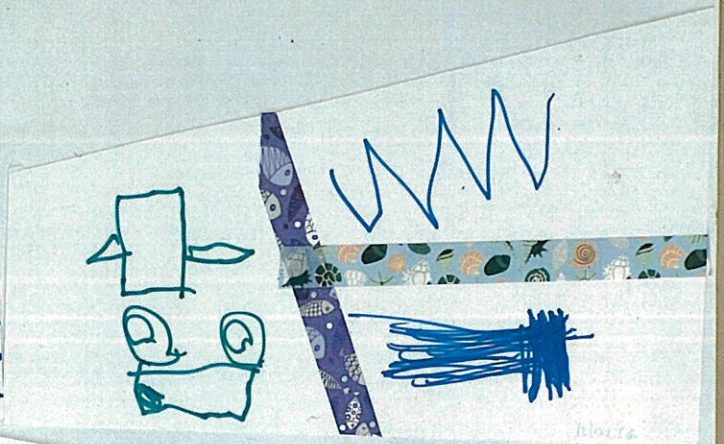
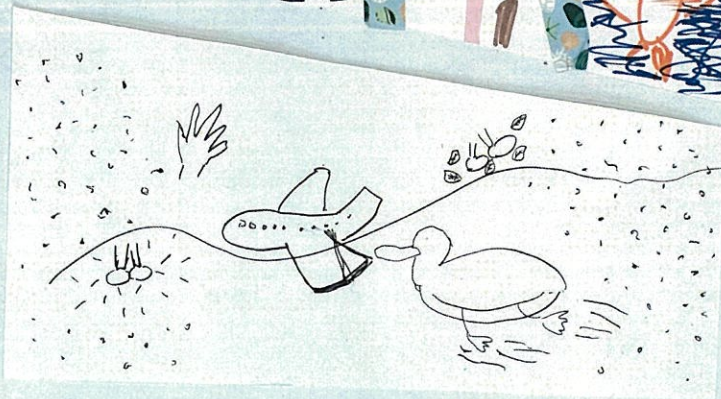
5 基金設立者へのご報告（メッセージ）

この度は、2024年12月に実施した「日常の音から音楽を作る」ワークショップにご支援いただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで、地域出身の若手音楽家とのコラボレーションを通じて、子どもたちと音楽を共に創り上げる素晴らしい機会を提供することができました。小さな子どもたちと地域で育った若手音楽家たちによる音楽を通じた交流は残念ながら地域では多くなされていません。しかしながら芸術を通じて世代を超え、人々がつながり循環することが、地域社会の未来に向けて継続可能な文化の礎となることを実感しております。貴基金のご支援があったからこそ、このような活動を実現することができ、地域に根ざした音楽文化を育む一歩を踏み出すことができました。音楽を通じて、地域の人々がより深くつながり、未来に向けて共に歩んでいける力を育てていけることは、私たちにとって大きな意義のある成果です。今後も、地域の人々とともに音楽を通じた創造的な活動を続け、地域社会の発展に寄与できるよう努力してまいります。改めまして、貴基金のご支援に深く感謝申し上げます。

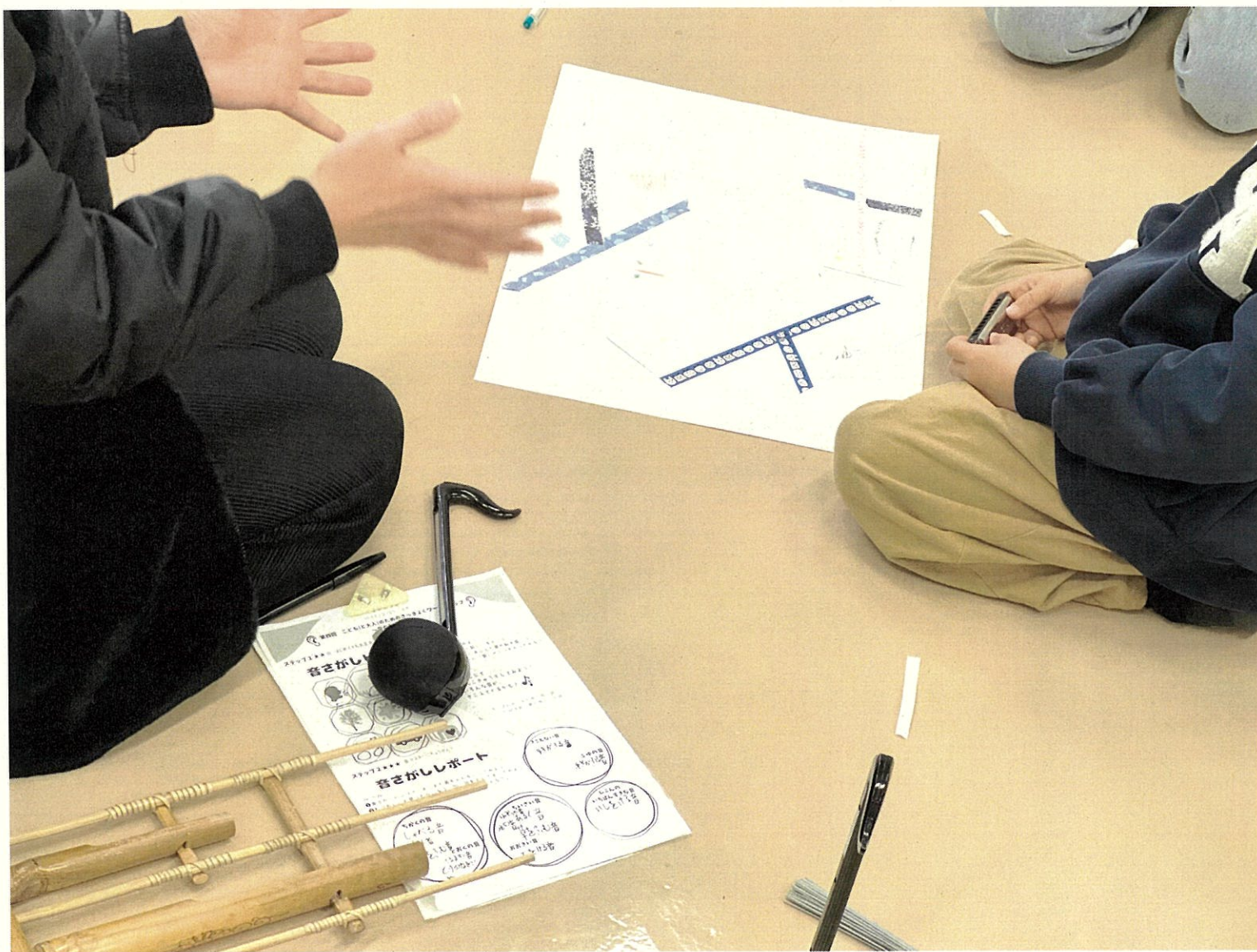
6 事業の実施状況を示す書類（別添）

- (1) 収支計算書（様式5）
- (2) 収支計算書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）





7.17
 2000
 24. 7. 2000, 2000. 7. 16. 2000
 24. 7. 2000
 24. 7. 2000





「のぞみみらい子ども・若者応援基金」活動報告書

2025 年 4 月 18 日

公益財団法人長野県みらい基金
高橋 潤 理事長 様

所在地

〒399-8204

安曇野市豊科高家5208-42

団体名

チャイルドライン中信

代表者
職・氏名

比澤由美(代表)



「のぞみみらい子ども・若者応援基金」の助成事業が完了したため、下記のとおり報告します。

記

1 事業名

チャイルドライン中信 受け手養成講座 及び 支援手養成研修事業

2 助成対象事業の実施期間

2024 年 6 月 28 日 ~ 2025 年 3 月 31 日

3 実施した取り組み

(この事業で具体的にに行ったこと、誰に・いつ・どこで・何をどのように行ったのか)

① 第2期 受け手養成講座の開講

中信地域の市民19名が、5月25日～8月3日「安曇野市豊科ささみセンター」にて養成講座を受講。

(日誌表・写真も添付)

② 支援手養成研修会の実施

受け手養成講座を受講した「受け手」8名が、10月26日、11月23日「ささみセンター」にて研修会に参加。

③ チャイルドラインの活動を知ってもらうための広報活動

チャイルドラインカードの配布(7/9)

豊科公民館「タウンミーティング」にてパネルディスカッション参加(7/30)

オレンジボンのイベント参加(9/21、11/1)

4 得られた状態・成果

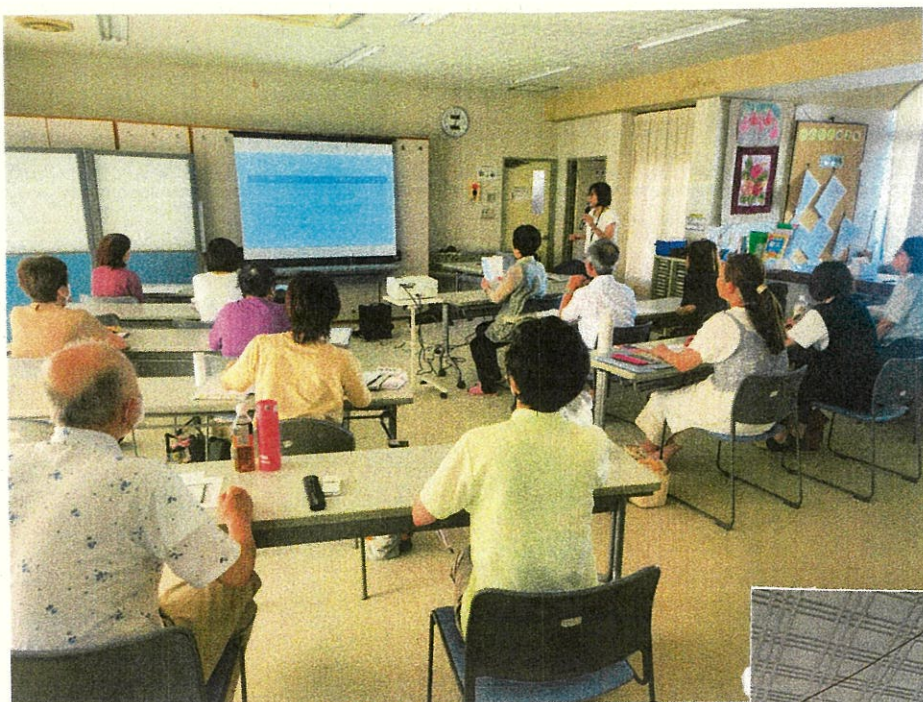
(この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたのか)

養成講座を受講した19名のうち、実際に6名が電話の受け手ボランティアとして、活動できている。また、5名の支援手も加わり、やがては電話を全て受けたいという私たちの目標に、お近づきされた。

広報活動をする中で、子どもがチャイルドラインに電話をかける。また電話をかけるきっかけや、その理解者をいかに増やしていると感じています。

子どもの気持ちを聴くこと。子どものインポートを引き出し、心の居場所をつくりたい。...という。
 私たちの気持ちも、形として見出す。行政からの支援はハードルが高いのが現状です。その中で、
 「のどみみらい子ども・若者応援基金」の助成金も、ほんのりにありがたく、活用させていただく。受け手の養成
 も、支援のネットワーク、おたがいのために使わせて頂きたい。
 昨日もまた、子ども自殺の520名を伝える。自分たちの活動の意味を、考えたり、感じたりしてしまいます。
 ともに、電話は、やめて来ます。電話を切る頃、いつも子どもの声は明るく聞こえていたり、言葉にして
 「話を聴いてくれてありがとう」と伝えてもらえると、その活動を止めることはできないと思うのです。
 電話も、やめてくると限り、そのボランティアは、続けたほうがいいかもしれません。
 私たちの活動に、ご理解を頂き、お力強く背中を押し頂きたい。感謝の気持ちを、お伝えします。
 ほんのりに、ありがたうございました。

- (1) 収支計算書(様式5)
- (2) 収支計算書の証拠書類(領収書の写し等)
- (3) 活動の実施風景写真(外部公開可能なもの)
- (4) その他参考資料(事業の経過や成果を証するもの)



8/24

石毛いづみ氏

「子どもたちの声に聴く」



7/27

兼重尚子氏

「聴くことから始めるよう」



6/29

坂井真琴氏

「性の多様性」



7/20

百瀬敬子氏

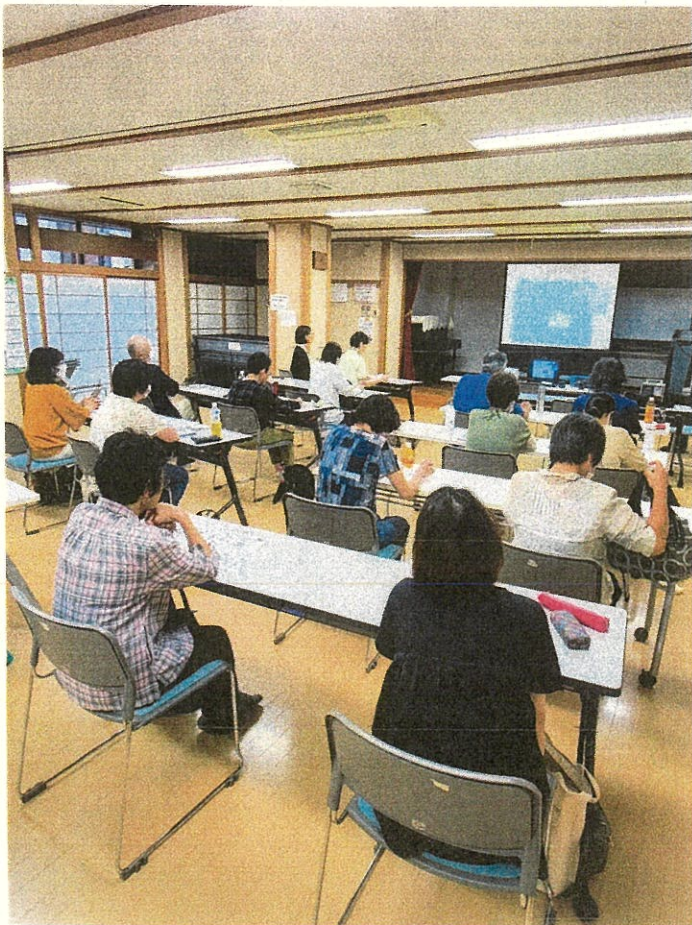
「子どもたちの自信とやる気を引き出す勇氣が」





9/21 広報

「オレシリボシ」のイベントに参加
 子どもの人権を知ってもらい
 チャイルドラインを大人の方にも知ってもらうために
 「オレシリボシ」でPR.



8/31

中垣真知子

「レシートを押して?」

ズーイにお講座



2024年度 チャイルドライン中信
第2期受け手養成講座 日程のお知らせ

回	公開の有無	開催日	時間	テーマ	講師	場 所
1	公開	5月25日	13:00	開講式		豊科老人福祉センター
			13:30	子どもとメディア	松島恒志氏 子どもとメディア信州代表	
2	公開	6月15日	13:00	性の学びとは	後藤裕子氏 元養護教諭 まちかど保健室相談員	豊科ささえあいセンターにじ
3	公開		15:00	子どもを取り巻く犯罪	田村洋之氏 長野県警本部人身安全少年課	
4	公開	6月29日	13:00	性の多様性	坂井真琴氏 子ども・若者サポートはみんぐ	豊科ささえあいセンターにじ
5	公開		15:00	子どもの人権	中村弘文氏 長野県人権啓発センター	
6	公開	7月20日	13:00	子どもの自信とやる気を引き出す勇気づけ	百瀬敬子氏 モモの会(不登校親の会)代表	豊科ささえあいセンターにじ
7	公開		15:00	子どもの大切な命を守るために ～考えよう！自死対策～	飯田俊穂氏 安曇野内科ストレスケアクリニック院長	
8		7月27日	13:00	聴くことから始めよう ワークショップ	兼重尚子氏 米国CTF認定プロフェッショナルコーチ	豊科ささえあいセンターにじ
9		8月24日	13:00	子どもの声を聴く チャイルドラインの実際	石毛いづみ氏 公認心理師 チャイルドライン佐久	豊科ささえあいセンターにじ
10	公開	8月31日	13:00	しつけは押しつけ？ ～しつけと虐待を考える～	中垣真通氏 横浜子ども情報センター虹研修部研修部長	豊科ささえあいセンターにじ
			15:30	閉講式		

★ 申し込み先 豊科ささえあいセンター ☎0263-72-3013（平日9時～17時）
上記以外は 北澤090-8683-3185 中野090-5203-2089まで電話かメールで
お名前と連絡先を記入してお申し込みください。

★ 問い合わせ先 チャイルドライン中信 代表・北澤由美(090-8683-3185)
事務局 e-mail chuxankynkyn720@gmail.com

★ 詳細は裏面をご覧ください。

皆様のご応募をお待ちしております。

「のぞみみらい子ども・若者応援基金」活動報告書

2025年3月17日

公益財団法人長野県みらい基金
高橋 潤 理事長 様

所在地 〒390-0847
松本市笹部 2-6-31-1
団体名 おやこクラブてるてる
代表者 代表 川崎英里
職・氏名



「のぞみみらい子ども・若者応援基金」の助成事業が完了したため、下記のとおり報告します。

記

1 事業名

おやこクラブてるてる

2 助成対象事業の実施期間

2024年7月1日

～

2025年3月6日

3 実施した取り組み

(この事業で具体的に行ったこと、誰に・いつ・どこで・何をどのように行ったのか)

0歳～3歳の入園前のお子さんとその保護者を対象に、月に1回のペースで、お子さんと一緒に楽しめる遊びや体験を提供しました。

また、室内での活動の後は、「てるてるカフェ」として軽食やコーヒーを用意し、お子さんと一緒にお昼ご飯を食べてゆっくりでき時間を提供しました。

2024年7月10日 ブルーベリー狩り 大西農園

2024年8月30日 水遊び 笹賀地区福祉ひろば

2024年9月17日 親子体操 笹賀公民館

2024年9月26日 ぶどう狩り 真田園

2024年10月29日 人形劇&ハロウィンパーティ 笹賀公民館

2024年11月12日 消防署見学 芳川消防署

2024年12月6日 親子クッキング 笹賀公民館

2025年1月30日 ベビーマッサージ 笹賀公民館
2025年2月13日 やしろうま作り 笹賀公民館
2025年3月6日 ママのためのヨガ 笹賀公民館

4 得られた状態・成果

(この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたのか)

多くの育児中の方に参加していただき、親子で楽しい時間を過ごしてもらえました。

消防署見学では、お父さんも一緒に参加する家庭もあり、男親との思い出作りにもなったように思います。

ブルーベリー狩りやぶどう狩りでは、初めて果物狩りをするという子も多く、一緒に参加する事で気兼ねなく楽しく体験できました。

親子体操やママのためのヨガでは、育児中の保護者が後回しにしがちな自分の体を労う貴重な時間となったように思います。

ベビーマッサージでは、講師としてお招きしていた助産師の方に育児相談をしていただき、乳幼児期の不安がある保護者の方々の支えとなっていただきました。

親子クッキングややしろうま作りでは、家庭ではなかなか難しい料理作りに親子で挑戦してもらい、料理を作る楽しさ、栄養について、自分で作ったご飯を食べる美味しさなどの気付きの体験になったと思います。

また、それぞれの活動を通して、親同士で話したり、育児相談、情報交換なども行われ、参加者同士で盛り上がっている姿も見ることができました。

てるてるの場でお友達になった様子の参加者もいて、次の活動と一緒に申し込んでくださる方もいました。

参加者の方から、下記のようなメッセージもいただきました。

「一緒に子どもの成長を見守ってもらっているような気持ちで嬉しかったです。子育ての先輩からの大丈夫！という一言がとても支えになりました」

「毎回、ここで遊んで、お昼を食べて帰るのがとても楽しみでした！」

5 基金設立者へのご報告（メッセージ）

0歳～入園前のお子さんとその保護者を対象に活動してきて3年目になります。毎年、参加者の負担が大きくなりすぎないように、気軽に参加できるような参加費を設定してやりくりしていました。

今回、のぞみみらい基金に採択していただき、各活動での材料費やてるてるカフェのコーヒーなどを充実させることができました。また、子育て情報誌「イクジィ」への有料掲載も申し込むことができて、多くの育児中の方に情報を届ける事ができたと感じています。

さらに、ボランティアスタッフの持ち込み食材についても、きちんと材料費として支払うことができた為、運営スタッフの負担軽減にもつながりました。

特に、今年度は度重なる値上げがありましたが、それでも一度も断念することなく最後まで活動を続けることができました。

参加者の方々と何気ない会話をする中で、困っていること悩んでいることを聞いていると、涙目になるお母さん達もいました。のぞみみらい基金のおかげで、ギリギリの中で頑張っている方々に、リラックスしてもらえる時間を提供できたと思います。

参加者の方々に替わり、感謝を申し上げます。

本当にありがとうございました。

6 事業の実施状況を示す書類（別添）

（1）収支計算書（様式5）

（2）収支計算書の証拠書類（領収書の写し等）

（3）活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）

（4）その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

令和6年度 おやこクラブてるてる 活動の実施風景写真

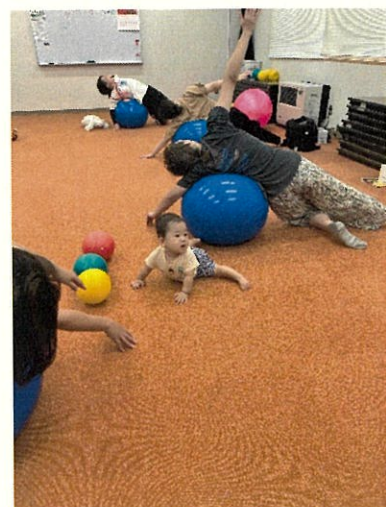
● 7月10日 ブルーベリー狩り



● 8月30日 水遊び



● 9月17日 親子体操



● 9月26日 ぶどう狩り



● 10月29日 人形劇&ハロウィンパーティ



● 11月12日 消防署見学



● 11月22日 やきいも会



● 12月6日 親子クッキング



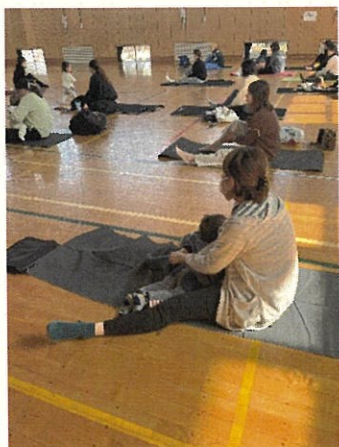
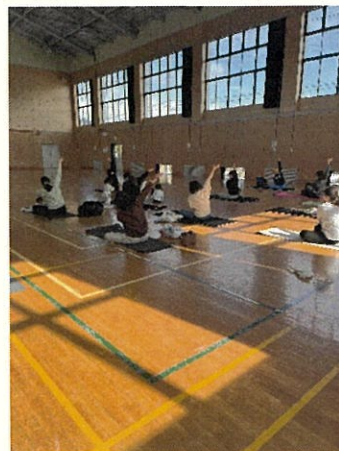
● 1月30日 ベビーマッサージ



● 2月13日 やしろうま作り



● 3月6日 ママヨガ



「のぞみみらい子ども・若者応援基金」活動報告書

令和7年 2 月 11 日

公益財団法人長野県みらい基金
高橋 潤 理事長 様

所在地 〒399-8205
長野県安曇野市豊科 4932 番地 13

団体名 一般社団法人 笑顔の花

代表者 茅房 栄美
職・氏名



「のぞみみらい子ども・若者応援基金」の助成事業が完了したため、下記のとおり報告します。

記

1 事業名

子どもの遊びと学び インクルーシブ教育事業

2 助成対象事業の実施期間

2024 年 6 月 28 日 ～ 2025 年 2 月 11 日

3 実施した取り組み

(この事業で具体的に行ったこと、誰に・いつ・どこで・何をどのように行ったのか)

1 インクルーシブなあそび広場

＜実施場所＞安曇野市体育館（主にANCアリーナ）

＜実績＞

日付	参加人数	日付	参加人数
7月11日	13人	10月24日	34人
7月22日	10人	11月7日	20人
8月8日	10人	11月21日	18人
8月22日	13人	12月12日	20人
9月12日	20人	12月26日	29人
9月26日	12人	1月9日	38人
10月10日	18人	1月23日	38人

天候に左右されない屋内遊戯施設で開催、エア遊具や療育遊具を設置病気や障害を持った子ども達をまん中に、みんなで相談しながら協力し合って遊具を選んだり、遊び方を工夫して見つけて行きます。日常では繋がりのない子ども達や親同士の交流の場として、地域住民が繋がる交流の場を目指します。

2.学び体験の提供（共に学ぶ機会の創出）

インクルーシブとは何か？を学び実践できる機会をつくる

＜実績・予定＞

年齢や性別障がいの有無に関わらず、地域住民が繋がる交流の場を目指します。インクルーシブとは何か？実際に体験し学んで行きます。重症心身障害児、医療的ケア児など在宅で過ごすことが多い家族にとって、外出が嬉しく、楽しくあそび学べる運動時間を実現。多世代の交流と地域のネットワークづくり健康増進に繋がります。

日付	講師	内容	参加人数
6月16日	安曇野市	療育遊び	17人
7月14日	駒ヶ根	重度心身障害児との療育遊び	32人
7月29日	安曇野市	ストレッチ教室1	10人
7月30日	安曇野市	ダンス・フィットネス 健康教室	11人
8月19日	安曇野市	ストレッチ教室2	8人
8月24日	安曇野市	公民館行事 あそび広場	45人
8月31日	安曇野市	バランスボール	12人
9月11日	上田市	親子ムーブメント教室	40人
9月16日	安曇野市	ピオダンス	18人
9月22日	長野市	防災イベントあそび広場	110人
9月27日	安曇野市	児童支援発達施設あそび広場	18人
9月28日	駒ヶ根市	看護大との療育体験会	23人
9月28日	安曇野市	みんなのごはん会 あそび広場	30人
9月29日	安曇野市	市民活動フェスタ	120人
9月30日	安曇野市	ストレッチ教室3	8人
10月6日	安曇野市	キッズアート	14人
10月19日	安曇野市	みんなのごはん会 あそび広場	18人
10月20日	安曇野市	市民活動フェスタ遊び体験会	160人
10月21日	安曇野市	ストレッチ教室4	6人
10月26日	南箕輪村	障がい児との療育遊び	45人
11月17日	高森町	高森町あい LaBo	120人
11月18日	安曇野市	ストレッチ教室5	5人
12月4日	長野市	もったいない交流会	55人
12月8日	安曇野市	手話交流会	47人
12月19日	安曇野市	ストレッチ教室6	5人
1月20日	安曇野市	ストレッチ教室7	6人

4 得られた状態・成果

(この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたのか)

学ぶ：インクルーシブな学びの提供（共に学ぶ機会の共助コミュニティの創出）

- ・学校や教科書では知ることのできない当事者や現場から学ぶチャンス
- ・体験型講座によりコミュニケーションスキルを学ぶことができる
- ・多世代交流、子育て支援ネットワーク、横の繋がり、多様なコミュニティ形成

障がい児者とその家族と共に、インクルーシブとは何か？を学生や医療福祉教育の専門家、行政関係者等が参加し体験型の学びを実践しました。療育あそびとは、特に発達に遅れがある子どもや特別な支援が必要な子どもたちの成長を促すために行われる遊びです。遊びを通じて、多世代が交流できる地域の居場所と、子育て支援を行う団体との連携とネットワークを広げ地域の支え合いの繋がりを強化できました。次年度もインクルーシブ体験し共に学べる企画を継続して行きたいと思います。

5 基金設立者へのご報告（メッセージ）

この度は、インクルーシブ教育事業へのご支援をいただきありがとうございました。今回の事業は想定外に反響が良く、たくさんの個人や団体との連携を取ることができました。インクルーシブを学んでいるけれど、実際に体験したことがない、そんな学生が体験会に遊びに来てくれました。自ら感じ行動することがインクルーシブを体験する第一歩です。特別なことではないけれど、常に正解を求められる若者や学生にとってははじめは迷いや心配がありなかなか行動できずにいたけれど、時間と共に場になじみ交流が生まれ笑顔あふれるコミュニケーションの場となりました。頭ではなく実際に体験してみる。多様性を大切にする時代だからこそ、日常の暮らしから助け合いや支え合いができる交流の場づくりの大切さを感じます。そんな場づくりのお手伝いをこれからも継続して参ります。障がい児＝弱者という概念を外し、私たちはこの子らの力を借りて楽しい未来を共に創造して行こうと思います。来年度からは、経験をさらに活かし、皆様のお力を借りて、インクルーシブな遊び・学びに繋がる共創事業を目指して行きたいと思います。

6 事業の実施状況を示す書類（別添）

- (1) 収支計算書（様式5）
- (2) 収支計算書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

インクルーシブな
親子あそび広場

KIDS

ANCアリーナ



毎月第2.4木曜

10時～12時

どんな天候でも安心して遊べるよ



ANCアリーナ 2F柔剣道場

安曇野市高家4500-1

いっぱい走りまわれるよ



入場無料

出入り自由

のびのび思いっきりあそぼ



どんなあそび?

ふわふわ～エア遊具

感覚はぐくむ療育あそび

みんなで楽しもう!

手づくりあそび広場

空調・エレベーター完備

バリアフリー対応トイレ

Welcome

あそび広場の活動は安曇野市の無料開放事業の中で実施します♡

お問い合わせ

主催：一般社団法人 笑顔の花 代表：かやふさえみ
長野県元気づくり支援金 インクルーシブ教育事業



あったらいいなあ 子育てママパパの声から生まれました

冬の寒さや夏の猛暑、大雨や雪の天候に左右されず「室内で遊べる場所がほしいなあ・・・」そんな声から、あそび広場が実現しました。広々開放的な空間で、ハイハイや走り回ったり、ふわふわ大きな遊具で笑顔いっぱい体を動かした後は、ぐっすりお昼寝タイム。ママの休息リラックス時間も大切にしていね



元気いっぱい
遊んで行ってね



自分軸が大切 調和・感じる 心をはぐくむ



みんな違っていい＝自分らしさを大切に
インクルーシブ＝ありがとうのつながり

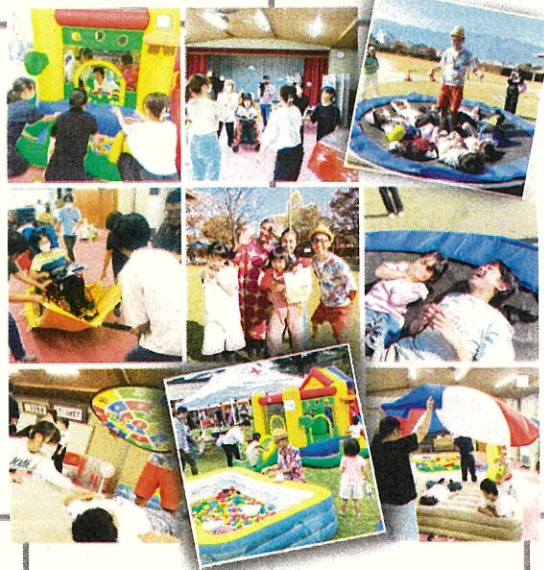
年齢や性別、障がいの有無に関わらず、あかちゃんから祖父母世代まで、多世代交流&シェアできるオープンコミュニティをみなさんと共に創って行きたいと思っています。



私を生きる☆学びの時間



自分を大切にしたい働きかたと実践の場
オンライン勉強会&バジャマトーク



おいしい・うれしい・ハッピー
お楽しみ情報をお届けます

ママの幸せ笑顔を応援

子育て中の皆さん
毎日、ほんと～～～にお疲れ様です！

ママがこきげんで心が満たされると、
子に安心感を与えます。子は親の姿を
見て感情を学びます。そこで心の幸福
度を満たす5つの行動をシェアします。

- ①運動・睡眠をしっかり
- ②SNSを見る時間を減らす
- ③感謝の時間を持つ
- ④人が喜ぶ行動をする
- ⑤今を感じる瞑想の時間を持つ

自分と仲良し＝家族と仲良しに
小さなことでも自分を褒めてあげてね



みなさんの声
をお聴かせてください



子育てに限らず、暮らしの困りごとや
悩みなども書き込んでみてくださいね。

みんなで食べると
おいしいね
いいじかん



DELICIOUS



みんなのごはん会

月1～2回ごはん会を開催しています。
みんながまるっと美味しいうれしい♪
笑顔の時間を一緒に楽しみましょう～

おいしい・うれしい・たのしい
インクルーシブな活動を楽しもうワクワク広げよう

主 催：一般社団法人 笑顔の花 代表理事：かやふさ えみ
所在地：安曇野市豊科4932-13 連絡先：08074920817
開 催：ANCアリーナ親子あそび広場
後 援：安曇野市・安曇野市教育委員会

一緒にたのしい未来を創ろう





パラシュート体験を楽しむ参加者

みんなで楽しむ 遊びで体験交流

大芝高原で

典さんが出演するほか、市内の小学生や高校生の有志も参加する。

障害の有無や年齢性別にかかわらず、誰でも楽しめる交流の場

「インクルーシブな遊び体験」がこのほど、南箕輪村大芝高原の森の学び舎で開かれた。難病障害児の支援に取り組む安曇野市の「笑顔の花」が県の支援金を受け、活動の周知や障害児との交流を促そうと企画。約30人が参加し、療育遊具で遊んだ。

会場にはエアーマット、ボールプール、パラシュート、フラフープなど安全に楽しめる療育遊具約10種類が設けられた。ハンモックの揺れと同じ体験ができる取っ手付きのシート「ゆらんこ」は、車椅子のまま乗せて移動できる。子どもたちはシートの端を持った大人に揺られてもらい、楽しそうだった。

同村の木下夏未さん(41)は「普段交流できない子と遊んだり、初めての遊具を体験したりと新鮮だった」と感想。同村の池上雅子さん(54)は「室内なので

天候の心配もなく、公園感覚で遊べる。いろいろな人たちと触れ合える機会。親同士も交流できる」と話した。

代表の茅房栄美さん(48)＝同市＝は、長女が心臓病を患ったことをきっかけに、2016年から県立子ども病院(同市)で付き添い

家族のサポートや障害児の在宅支援などの活動を始めた。「現状は障害児への関心が低く認知や理解を含め取り組んでいる。今後は保育や教育に携わる学生に体験してもらう活動もしていく」としていた。

父澤野不二男儀十月三十日午前九時五十五分九十四歳の天寿を全うし永眠致しました
ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます
追って葬儀・告別式は左記により相営みます

記

一、日時 十一月三日(日)

午後零時半より 弔問受付
午後一時より 葬儀 告別式

一、場所 岡谷市郷田 敬念寺

なお葬儀は岡谷市生活改善実行委員会改善事項により行わせていただきます

令和六年十一月二日

岡谷市川岸中

喪主 澤野 紳二

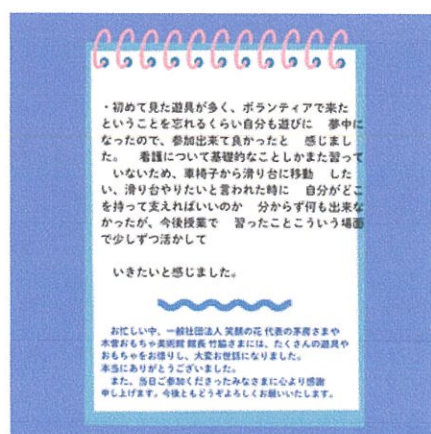
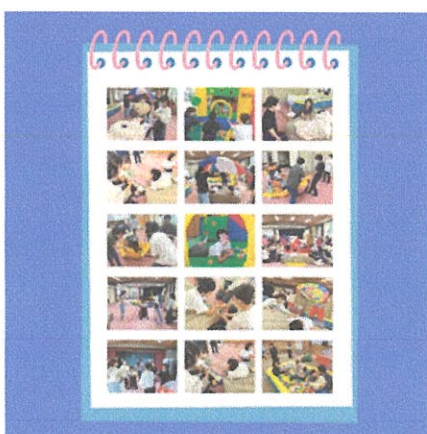
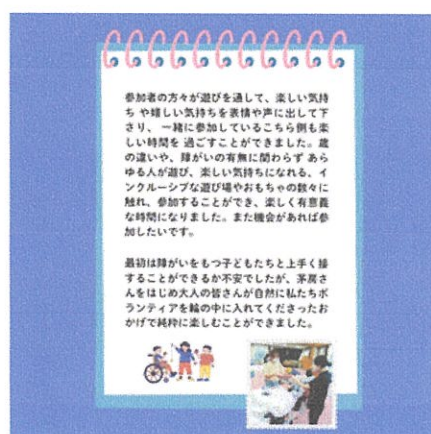
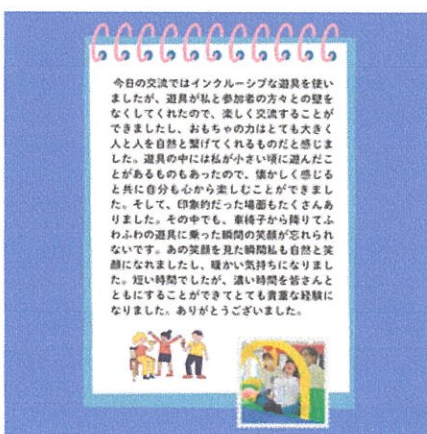
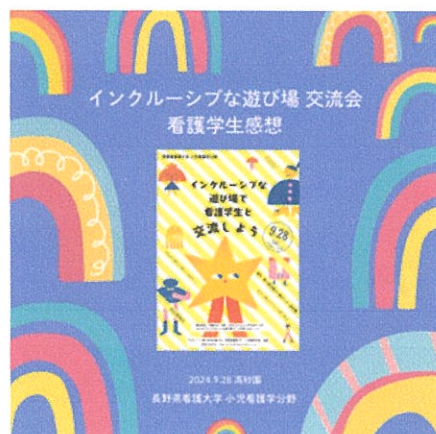
2024年7月16日 障がいセンター インクルーシブなあそび体験会
ケーブルテレビ・エコシティ・駒ヶ根で放送



2024年10月3日 障がいセンター 長野看護大学生との体験会 ケーブルテレビ・エコシティ・駒ヶ根で放送



学生からの感想文



駒ヶ根 障がいセンター インクルーシブ体験会

2024年7月14日（金）
長野県元気づくり支援金事業
提出先：松本地域振興局復興課

標記の件につき下記の通りご報告いたします。

活動目的

障がいの有無に関わらず、年齢や性別も問わず、乳幼児から高齢者まで健康で幸せになれる場づくり、多様性のある子や家族との地域交流や繋がりを目指します。実践的なワークショップを通じてインクルーシブを体感・学びます。また多世代との地域交流との繋がりやコミュニケーションを深め、笑顔あふれる場づくりを目指します。

参加者

日時：2024年7月14日 10:00～12:00
場所：駒ヶ根障がいセンター高砂園 講師：浅野暁彦
人数：大人22人 子ども10人 障がい者8人



活動内容

成人になった障がいの子でも安心して遊べる公園・屋内遊戯場をつくってほしいと母親より声があがり、今回のインクルーシブなあそび広場・体験会が開催されました。

成果

重い障がい児のケアに慣れている養護学校の教職員や看護師など専門家も参加され、その子ひとりひとりに寄り添い遊ぶことができました。長野看護大の准教授が今回の体験を生徒たちにも体験してほしいとの希望から、2024年9月の課外授業にインクルーシブ体験・交流会として学生と共に企画・開催することになりました。



所感

今回参加していただいた医療・教育や福祉に関わる専門家の方々のお陰で遊びのバリエーションも広く豊かな時間となりました。子ども達に笑顔になってもらいたい、その一心で親や大人達は全力で無邪気になって遊具であそび笑顔で楽しまれている様子が素晴らしかったです。そんな姿を見て感じて子ども達も笑顔で楽しんでいました！

地域交流イベント 企画・ソクラン

2024年8月9日（金）
長野県元気づくり支援金事業
提出先：松本地域振興局復興課

標記の件につき下記の通りご報告いたします。

活動目的

障がいの有無に関わらず、年齢や性別も問わず、乳幼児から高齢者まで健康で幸せになれる場づくり、多様性のある子や家族との地域交流や繋がりを目指します。実践的なワークショップを通じてインクルーシブを体感・学びます。また多世代との地域交流との繋がりやコミュニケーションを深め、笑顔あふれる場づくりを目指します。

参加者

日時：2024年8月10日 10:00～13:00
場所：安曇野市明科せせらぎの里 講師：浅野暁彦
人数：大人10人 子ども15人 障がい児5人

活動内容

病児家族と地域が繋がるインクルーシブ交流イベント。
全身で心のままにおもいきり遊びます。障がいの有無に関わらず、健常な子も障がいの子もみんなで水あそびを通じて嬉しい楽しい時間を過ごします。



成果

年齢や障がいに応じて遊具やおもちゃを子ども達同士が譲ったり渡したりする姿が見られました。医療的ケアが必要な重度心身障害の子も参加、みんなが遊ぶ様子や声を感じ、満面の笑顔や大きな声で喜びを表現している様子にママさんはとても喜んでいました。水遊び、療育遊具、プール、それぞれの遊びを思い思いに楽しみました。



所感

いつも施設内で過ごしている医療的ケアのお子さんを連れてきてくれたママさん、ここまでの距離や荷物が大変な中、参加してくれて感謝の気持ちでいっぱいです。バギーに乗っているお子さんはずっと笑顔で楽しそうでした！このホースや機械は何？子ども達が興味深々でママさんが説明してくれて親子でとても勉強になりました。

子どもの居場所づくり あそび広場・コラボ企画

2024年8月24日（土）
長野県元気づくり支援金事業
提出先：松本地域振興局復興課

標記の件につき下記の通りご報告いたします。

活動目的

障がいの有無に関わらず、年齢や性別も問わず、乳幼児から高齢者まで健康で幸せになれる場づくり、多様性のある子や家族との地域交流や繋がりを目指します。実践的なワークショップを通じてインクルーシブを体感・学びます。また多世代との地域交流との繋がりやコミュニケーションを深め、笑顔あふれる場づくりを目指します。

参加者

日時：2024年8月24日 15:00～19:00
場所：新田公民館 講師：浅野暁彦
人数：大人20人 子ども25人（障がい者5人）

活動内容

乳幼児から高齢者まで、地域のつながり多世代交流を目的とした子どもの居場所づくりにインクルーシブなあそび広場を合わせて、こども食堂の可能性を広げていきます。



成果

遊具が大盛況で食事前も後も子ども達は解散の時刻を過ぎても思いっきり遊んでいました。親や大人達は食事やおしゃべりをしながら繋がりや交流を深め、その横で子ども達は楽しく遊んでいるようすが幸せな光景でした。こども食堂に遊び場はとても相性が良く、次回からも継続してほしいとの親達の声があがりました。



所感

子ども達は遊具に大興奮で芋洗いの混雑状態で遊んでいたの、年齢制限や時間を決める必要性を感じました。親たちが危険がないか遊び場の見守りをしてくれていたのですが、そうするとママ達も緊張してリラックスできないので、次回は子ども見守りサポートを1～2人配置した方が、親の負担がなく安心して過ごせると感じました。

インクルーシブ・バランスボール教室

2024年8月31日（土）
長野県元気づくり支援金事業
提出先：松本地域振興局復興課

標記の件につき下記の通りご報告いたします。

活動目的

障がいの有無に関わらず、年齢や性別も問わず、乳幼児から高齢者まで健康で幸せになれる場づくり、多様性のある子や家族との地域交流や繋がりを目指します。実践的なワークショップを通じてインクルーシブを体感・学びます。また多世代との地域交流との繋がりやコミュニケーションを深め、笑顔あふれる場づくりを目指します。

参加者

日時：2024年8月31日 10:00～12:00
場所：ANCアリーナ1F 講師：丸山亜紀
人数：大人8人 子4人（障がい者2人・リハビリ中1人）

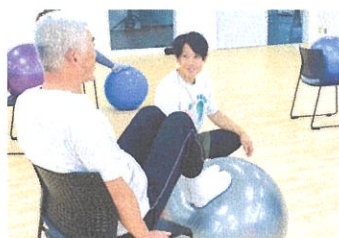


活動内容

健常・障がい者が一緒になってバランスボールを体験する。幼児から高齢者まで一人ひとりに寄り添いそれぞれのペースやスピードを大切にで進めて行く。

成果

年齢や体調、その人の特性によって動きのペースが違うため、講師自身も健常者のレッスンのあり方との違いを大きく感じたことで、支え合い助け合う、インクルーシブ体験ができました。自閉症の子の行動に危険がないか？お母さんが少しでも練習に参加できるように、子ども達の見守りも皆で協力しながら温かく見守りました。



所感

リハビリ中の高齢者や自閉症の子どもと一緒にレッスンする中、講師自身も健常者とのレッスンとの違いに勉強になることが多いと言っていました。リズムのペースはゆっくりとなったことで他の女性の方々もその方がついて行けると、何事もできない人の視線を常に取り入れ寄り添う姿勢が大切だと感じ勉強になりました。

生命のダンス ビオダンサ教室

2024年9月16日（月）
長野県元気づくり支援金事業
提出先：松本地域振興局復興課

標記の件につき下記の通りご報告いたします。

活動目的

障がいの有無に関わらず、年齢や性別も問わず、乳幼児から高齢者まで健康で幸せになれる場づくり、多様性のある子や家族との地域交流や繋がりを目指します。実践的なワークショップを通じてインクルーシブを体感・学びます。また多世代との地域交流との繋がりやコミュニケーションを深め、笑顔あふれる場づくりを目指します。

参加者

日時：2024年9月11日 10:00～12:00
場所：豊科公民会2F 講師：深澤康弘・真弓
人数：大人12人 子ども6人（障がい者4人）

活動内容

踊れる人もできない人も、自由な感覚ありのままで心や体で感じて体を動かします。型にはまらない体の内側から湧き出るエネルギーを発散し手放していきます。心も体もスッキリ！唯一無二の自分を生きる感覚を思い出します。



成果

講師の誘導で皆が思い思いに体を自由に動かしていきます。その中で、思いっきり身振り手振り動かし始めた障がいの方のダンスがとても魅力的で輝いていました。既成概念や常識、人の目に問われない動きに感動しました。障がいの方達からは、今まで気づかなかったことや新しい発見など学びがとても多いです。



所感

はじめは緊張気味でも一人が二人が三人と連鎖して、動きやアクションが広がって行きます。誰かを模倣することでできたり、自分にできる許可が自然と起きたり、それぞれの内側での目覚めがワクワクしたダンス、まさに命のダンスに変わってゆきました。心で感じて動く、その一つひとつが命のダンスそのもの！と気づかされました。

駒ヶ根・インクルーシブなあそび広場 体験会

2024年9月28日（土）
長野県元気づくり支援金事業
提出先：松本地域振興局復興課

標記の件につき下記の通りご報告いたします。

活動目的

障がいの有無に関わらず、年齢や性別も問わず、乳幼児から高齢者まで健康で幸せになれる場づくり、多様性のある子や家族との地域交流や繋がりを目指します。実践的なワークショップを通じてインクルーシブを体感・学びます。また多世代との地域交流との繋がりやコミュニケーションを深め、笑顔あふれる場づくりを目指します。

参加者

日時：2024年9月28日 10:00～12:00
場所：駒ヶ根障がいセンター高砂園 講師：浅野暁彦
人数：大人15人 学生8人 障がい者4人

活動内容

障がいの子と看護学生があそび場を通じてお互いを知り、ふれあえるインクルーシブ体験&交流会。看護学生にとっては初めての経験です。実際に見た時にどんな風に感じて行動するのか？心やコミュニケーション能力も育みます。



成果

上田市の長野大学環境ツーリズムの学生さんからインクルーシブの分野には興味があるけれど実際に体験したことがないので体験をしたいとの希望で今回、看護学生の皆さんと一緒に交流しました。重度心身障がい花さんがトランポリンに移動する際に5人の手があることで遊びの幅が広がる喜びを皆で分かち合いました。



所感

木曽おばちゃ美術館の館長さんがたくさんのおもちゃを持ってきてくださいました。遊具と玩具のそれぞれの特性を生かして、障がいの子をまん中に学生さんたちが創意工夫して遊び交流を楽しまれている様子が印象的でした。はじめは緊張気味でしたが、最後には笑顔がいっぱい和気藹々とした雰囲気に！学び多い企画となりました。

大芝高原 インクルーシブなあそび体験会

2024年10月26日（日）
長野県元気づくり支援金事業
提出先：松本地域振興局復興課

標記の件につき下記の通りご報告いたします。

活動目的

障がいの有無に関わらず、年齢や性別も問わず、乳幼児から高齢者まで健康で幸せになれる場づくり、多様性のある子や家族との地域交流や繋がりを目指します。実践的なワークショップを通じてインクルーシブを体感・学びます。また多世代との地域交流との繋がりやコミュニケーションを深め、笑顔あふれる場づくりを目指します。

参加者

日時：2024年10月26日 10:00～14:00
場所：大芝高原 森の学び舎 講師：浅野暁彦
人数：大人25人 子ども20人

活動内容

インクルーシブなあそびとは？を体験する会。障害児の家族や養護学校の先生や生徒が中心となり参加者同士の交流を深める。誰もが気軽に交流し集える公園のようなあそび場づくりを目指す。



成果

大芝高原の場所ということもあり、近くに遊びに来ていた子育て家族や、子ども達に声をかけて一緒に遊びに来てくれました。普段車いすの子などとおうことがなかったので良い機会でしたとおっしゃっていました。障害児の家族もあそべるところが無いのでこういう場があるととても助かる嬉しいとのご意見をいただきました。来年春にまた開催する運びとなりました。



所感

養護学校の先生や看護師さんと一緒に体を使って思いっきり笑って遊んだり、子ども達が遊んでいる側で親同士のおしゃべりや交流があるなど、公園のように開放的で自由な雰囲気でした。有志と共に、今回は海外協力青年隊や南箕輪村の地域おこし協力隊の方々に協力いただき、皆の力を合わせて想像を超える素敵な時間になりました。

みんなで感じる福祉イベント あいLaBo

2024年11月17日（日）
長野県元気づくり支援金事業
提出先：松本地域振興局復興課

標記の件につき下記の通りご報告いたします。

活動目的

障がいの有無に関わらず、年齢や性別も問わず、乳幼児から高齢者まで健康で幸せになれる場づくり、多様性のある子や家族との地域交流や繋がりを目指します。実践的なワークショップを通じてインクルーシブを体感・学びます。また多世代との地域交流との繋がりやコミュニケーションを深め、笑顔あふれる場づくりを目指します。

参加者

日時：2024年11月17日 10:00～14:00

場所：高森町 講師：池上雅子

人数：大人50人 子ども70人

活動内容

福祉を感じて、知ってほしいという思いを込めて、自分らしく生きていける共生社会をテーマに下伊那郡高森町の健康福祉イベントでインクルーシブ体験ブースとして参加させていただきました。



成果

成人の重度心身障害の方を囲んで女子高校生や先生、職員のみなさんとパラシュート遊びを一緒にできた時間が印象的でした。子育て世代をはじめ多世代の皆さんと一緒に遊具を通じて協力してあそんだり子どもを見守ったり譲り合ったり手助けするなど自然な形で福祉を感じられる時間になったと思います。高森町や社協の職員さんやボラの皆さんにあそび場があって良かったととても喜んでいただき感謝しております。



所感

インクルーシブな遊び場は年齢や性別、障がいの有無に関わらず、どんな人たちでも楽しめる場だと感じられる体験をさせていただきました。人と人とが繋がり何気ない会話やコミュニケーション生まれる、公園みたいだなと感じました。また来てほしいとの要望があり皆さんの笑顔や声に応えて継続して行きたいと強く感じました。

もったいない交流会 あそび場

2024年12月4日（水）
長野県元気づくり支援金事業
提出先：松本地域振興局復興課

標記の件につき下記の通りご報告いたします。

活動目的

障がいの有無に関わらず、年齢や性別も問わず、乳幼児から高齢者まで健康で幸せになれる場づくり、多様性のある子や家族との地域交流や繋がりを目指します。実践的なワークショップを通じてインクルーシブを体感・学びます。また多世代との地域交流との繋がりやコミュニケーションを深め、笑顔あふれる場づくりを目指します。

参加者

日時：2024年12月4日 10:00～12:00

場所：長野市更北公民館

人数：大人40人 子ども36人

活動内容

更北地区の子育て世代の地域交流イベントでインクルーシブや遊びを体験してもらうチャンスとなりました。重症心身障害児の施設の子ども達や先生も参加し地域の子育て中の家族と一緒に遊び交流します。



成果

0～5歳くらいまでの幼児期の子ども達とママさん、サンライズ川中島の医療的ケア＆重心のお子さん支援者さんと一緒にゆらんこやパラシュートなどママ家族のみなさんと一緒の場で遊ぶことができました。ママさんからは「ふだんは交流がないので、障がいの子達とふれ合える貴重な経験ができた」「月一くらいで開催してほしい」「寒くなるので室内で遊ぶことができて嬉しい」と嬉しいお言葉をいただきました。



所感

人数は家族単位で28家族＋サンライズ川中島の支援者含めて9名の皆さんが遊び体験にきました。エアベットに横になっている重心のお姉さんお兄さんに1～2歳くらいの女の子が一緒になってパラシュートあそびを手伝ってくれてとても微笑ましかったです。年齢、障がいの有無に関わらずみんなが笑顔になれる場となりました。

地域交流イベント 企画・トランポリン

2024年12月14日（土）
長野県元気づくり支援金事業
提出先：松本地域振興局復興課

標記の件につき下記の通りご報告いたします。

活動目的

障がいの有無に関わらず、年齢や性別も問わず、乳幼児から高齢者まで健康で幸せになれる場づくり、多様性のある子や家族との地域交流や繋がりを目指します。実践的なワークショップを通じてインクルーシブを体感・学びます。また多世代との地域交流との繋がりやコミュニケーションを深め、笑顔あふれる場づくりを目指します。

参加者

日時：2024年12月14日 15:00～17:00
場所：豊科新田公民館 講師：浅野暁彦
人数：大人20人 子ども22人

活動内容

子どもの居場所づくり・ごはん会とコラボレーション企画、地域のつながりと多世代交流を楽しみます。子ども達と一緒にトランポリンや組み立てるところからスタートします。



成果

発達障がいの子達も一緒になって最初の組み立てから夢中になって遊べました。完成までの成り立ちを体験できました。夕ご飯が終わってもまた遊びたいとたくさんの子がトランポリンを楽しんでいました。体を使った遊び（トレーニング）と美味しいごはんクリスマス会を合わせて笑顔いっぱい楽しい時間を過ごせました。



所感

障がいの子と一緒に作業を進めることで、時に共に協力するなど子ども達同士の助け合いや譲り合う様子が見られました。自分たちで完成したトランポリンで体を使って思いっきり遊び楽しんだ後も、協力しながら分解し片付けをする、普段の日常や学校、お家ではできない経験ができて良かったです。

駒ヶ根・インクルーシブなあそび広場 体験会

標記の件につき下記の通りご報告いたします。

活動目的

障がいの有無に関わらず、年齢や性別も問わず、乳幼児から高齢者まで健康で幸せになれる場づくり、多様性のある子や家族との地域交流や繋がりを目指します。実践的なワークショップを通じてインクルーシブを体感・学びます。また多世代との地域交流との繋がりやコミュニケーションを深め、笑顔あふれる場づくりを目指します。

参加者

日時：2024年9月28日 10:00～12:00

場所：駒ヶ根障がいセンター高砂園 講師：浅野暁彦

人数：大人15人 学生8人 障がい者4人

活動内容

障がいの子と看護学生があそび場を通じてお互いを知り、ふれあえるインクルーシブ体験&交流会。看護学生にとっては初めての経験です。実際に見た時にどんな風に感じて行動するのか？心やコミュニケーション能力も育みます。



成果

上田市の長野大学環境ツーリズムの学生さんからインクルーシブの分野には興味があるけれど実際に体験したことがないので体験をしたいとの希望で今回、看護学生の皆さんと一緒に交流しました。重度心身障がい花さんがトランポリンに移動する際に5人の手があることで遊びの幅が広がる喜びを皆で分かち合いました。



所感

木曽おぼちゃ美術館の館長さんがたくさんのおもちゃを持ってきてくださいました。遊具と玩具のそれぞれの特性を生かして、障がいの子をまん中に学生さんたちが創意工夫して遊び交流を楽しまれている様子が印象的でした。はじめは緊張気味でしたが、最後には笑顔がいっぱい和気藹々とした雰囲気になりました。学び多い企画となりました。

大芝高原 インクルーシブなあそび体験会

標記の件につき下記の通りご報告いたします。

活動目的

障がいの有無に関わらず、年齢や性別も問わず、乳幼児から高齢者まで健康で幸せになれる場づくり、多様性のある子や家族との地域交流や繋がりを目指します。実践的なワークショップを通じてインクルーシブを体感・学びます。また多世代との地域交流との繋がりやコミュニケーションを深め、笑顔あふれる場づくりを目指します。

参加者

日時：2024年10月26日 10:00～14:00

場所：大芝高原 森の学び舎 講師：浅野暁彦

人数：大人25人 子ども20人

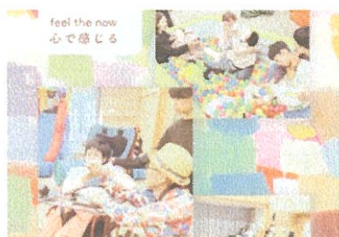
活動内容

インクルーシブはあそびとは？を体験する会。障害児の家族や養護学校の先生や生徒が中心となり参加者同士の交流を深める。誰もが気軽に交流し集える公園のようなあそび場づくりを目指す。



成果

大芝高原の場所ということもあり、近くに遊びに来ていた子育て家族や、子ども達に声をかけて一緒に遊びに来てくれました。普段車いすの子などとおうことがなかったので良い機会でしたとおっしゃっていました。障害児の家族もあそべる場所が無いのでこういう場があるととても助かる嬉しいとのご意見をいただきました。来年春にまた開催する運びとなりました。



所感

養護学校の先生や看護師さんと一緒に体を使って思いっきり笑って遊んだり、子ども達が遊んでいる側で親同士のおしゃべりや交流があるなど、公園のように開放的で自由な雰囲気でした。有志と共に、今回は海外協力青年隊や南箕輪村の地域おこし協力隊の方々に協力いただき、皆の力を合わせて想像を超える素敵な時間になりました。

「のぞみみらい子ども・若者応援基金」活動報告書

2025 年 3 月 23 日

公益財団法人長野県みらい基金

高橋 潤 理事長 様

所在地 〒399-0033
松本市笹賀 245-1

団体名 アップルツリー

代表者 代表 矢島美咲
職・氏名



「のぞみみらい子ども・若者応援基金」の助成事業が完了したため、下記のとおり報告します。

記

1 事業名

こどもとおとな食堂

2 助成対象事業の実施期間

2024 年 7 月 1 日 ～ 2025 年 2 月 17 日

3 実施した取り組み

(この事業で具体的に行ったこと、誰に・いつ・どこで・何をどのように行ったのか)

7月から2月まで月1回のこどもとおとな食堂を松本市笹賀公民館にて開催しました。
計画通り全て会食形式で開催し、子ども服のリユース会やおもちゃや絵本、育児用品のおさがり会の子育て支援も行うことができました。
8-9月は親子クッキングを2回にわたり開催し、管理栄養士の資格を持つスタッフから、だし汁のとり方などを教わり、家庭での作り方との違いをお喋りしながら交流を楽しむことができました。
10月はちびっこ運動会を行い、親子のふれあいの時間を作ることができました。
11月には地元企業様からそばガレットの提供を頂き、その場で焼きたてのガレットを食べながら親子で交流をしました。
12月のクリスマス会には地元企業様から餃子の提供を頂き、親子でクリスマス会を楽しみました。
1月は防災をテーマにパッククッキングを行い幅広い世代に参加して頂きました。
2月は講師を招いて子育て座談会を行い、日ごろの子育ての悩みなどを話しながらママの息抜きや交流の場を作ることができました。8回で100人の大人・63人の子どもが参加しました。

(様式4)

4 得られた状態・成果

(この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたのか)

会食形式に戻すことにより、ごはんを一緒に食べる事で主に子育て中の親子の交流の場を作ることができました。一方でテイクアウト形式のときからのお弁当利用の方にも声をかけ、お弁当だけを購入される方にも配慮しながら安価な食事の提供を続けることができました。

パッククッキングの回の時に、参加したお母さんから「みなでお料理を作るって楽しいですね。普段のご飯作りは孤独で、料理を作ることが楽しいと思えたことはなかったんです」という本音を聞き、「孤独になりすぎないように家族やお友達を巻き込んでお料理してみてくださいね」とお伝えし微力ですが、孤育てになりかねないお母さんの息抜きとなる場所となる事ができました。

また子連れのママだけでなく、地域の年配の方も育児用品のリユースを利用する姿があり、物資が必要な方に届く場所になりました。

会食形式にただ戻すだけではなく、色々な状況の方が顔を出しやすい環境をつくることを心掛けて活動をしてきた結果だと思えます。

5 基金設立者へのご報告（メッセージ）

活動のなかで参加者から「自分の地域でも開催したい」と相談をうけたり、アップルツリーのスタッフが実際に自分の地域でこども食堂を開始しました。

助成金のおかげで活動を続けることができ、こうした輪が広がっていくきっかけを作ることもしました。こうした活動がさらに広がることを心から願っております。

この度はアップルツリーの活動をご支援いただきましたこと、誠に感謝しております。
ありがとうございました。

6 事業の実施状況を示す書類（別添）

(1) 収支計算書（様式5）

(2) 収支計算書の証拠書類（領収書の写し等）

(3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）

(4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

7月



8月



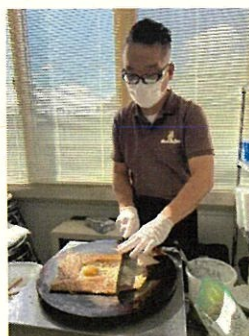
9月



10月



11月



12 月



1 月



2 月



ママから広げる笑顔の輪

アップルツリープロジェクト「こどもとおとな食堂」



バッククッキング体験

1月20日(月)

笹賀公民館

予約優先 (定員8組)

参加費 大人 300円

10:30 ~ 13:00

1階調理室・会議室

こども ワンコイン

(10:15集合)

※1月17日(金)までにお申込みください

※エプロン・三角巾・手拭きタオル・マスクをご持参ください

1月の企画は防災。耐熱性ポリ袋に材料・調味料を入れて湯せん調理する「バッククッキング」を防災食として調理体験していただきます！

管理栄養士のスタッフが講師となり「春雨サラダ」「麻婆豆腐」「蒸しパン」を作る予定です。調理後はみんなで試食しましょう。

特別企画！

子ども服 リユース会

10:30 ~ 12:30

新生児 ~ 160cm

幅広くご用意しております。

ご自由にお持ち帰りください。

※お持ち帰り用の袋をご持参ください



私たちアップルツリープロジェクトは、多世代の交流の場（居場所）の一つになることを目標に「こどもとおとな食堂」を中心とした様々な取り組みを行っている市民団体です。子育て中の母親で、松本市を中心に活動しています！

勇気づけの子育て講座

講師：百瀬 敬子さん

2月1日(土) 10:00 ~ 12:00

笹賀公民館にて

笹賀公民館との共同特別企画です。

予約不要ですが、希望者のみ、別室で託児あります。笹賀公民館(TEL:0263-58-2046)までお電話にてお申込みください。



申し込み・お問い合わせは
下記公式LINEにて



こどもとおとな食堂2月開催

2月17日(月)

10:45 ~ 13:00

笹賀公民館にて開催予定

先生を囲んで座談会

アドラー心理学「子どもを勇気づける言葉がけ」の先生と一緒に語り合い、親と子の心が軽くなるヒントを見つけましょう！

共催：NPOホットライン信州（信州こども食堂ネットワーク）

「のぞみみらい子ども・若者応援基金」及び「市民タイムスおもしろボックス」の助成を受けて活動しております

✉ appletree.matsumoto@gmail.com

ママから広げる笑顔の輪

アップルツリープロジェクト presents



アドラー心理学の講師を囲んで

勇気づけの子育て講座 座談会

2月17日(月) 笹賀公民館

予約優先 (定員15組)

10:45 ~ 13:00

1階会議室

参加費 大人 300円

こども ワンコイン

(10:30 開場)

※2月14日(金)までにお申込みください

アドラー心理学「子どもを勇気づける
言葉かけ」の先生を交えて一緒に語り合い、
親と子の心が軽くなるヒントを見つけましょう

<講師>

勇気づけリーダー

Sachi pan パン教室 主宰

関 幸 さん

子ども服 リユース会

10:30 ~ 13:00

新生児~160cm

幅広くご用意しております。

ご自由にお持ち帰りください。

※お持ち帰り用の袋をご持参ください



会食交流会付き

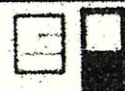
アップルツリースタッフ特製の温かい
食事を囲みながら、さらに親睦を
深めましょう!



今年度1年間、ありがとうございました

今年度もアップルツリーの企画にご参加いただき、誠に
ありがとうございました。来年度はスケジュールが決まり次第
公式LINEにてご案内させていただきます。

こども食堂



私たちアップルツリープロジェクトは、多世代の交流の場
(居場所)の一つになることを目標に「こどもとおとな食堂」を
中心とした様々な取り組みを行っている市民団体です。
メンバーの多くが子育て中の母親で、松本市を中心に活動しています!

申し込み・お問い合わせは

下記公式LINEにて

↓↓↓



共催: NPOホットライン信州 (信州こども食堂ネットワーク)

「のぞみみらい子ども・若者応援基金」及び「市民タイムスおもしろやりボックス」の

助成を受けて活動しております

✉ appletree.matsumoto@gmail.com

ママから広げる笑顔の輪

アップルツリープロジェクト「こどもとおとな食堂」

みんなで作ろう！

手形アートde海の世界



(イメージ例)

7月16日(火) 笹賀公民館

10:45 ~ 11:30

1階会議室

時間内入退室自由

参加費無料

(10:30 開場)

※汚れてもいい服装でお越しください



みんなで協力して、大きな模造紙に手形足形アート作りましょう！
海の日の日曜日ということもあり「海の世界」をみんなで作りたと思います。また、お持ち帰り用に、無地のうちわも準備しますので、MYうちわも作りましょう！

子ども服 リユース会

10:30 ~ 12:30

新生児 ~ 160cm

幅広くご用意しております。

ご自由にお持ち帰りください。

※お持ち帰り用の袋をご持参ください



会食交流会

11:30 ~ 12:30 【予約優先・15組】

今年度より会食形式が復活できました！

アップルツリースタッフ特製の温かい食事を
囲み、みんなで雑談しませんか？

参加費：大人300円・子どもワンコイン

※SDGs・感染予防の観点から、お箸とお皿(容器)を
ご持参ください。



8月以降の予定



8月以降は、クッキング体験やちびっこ運動会も企画しております！日程が決まり次第、公式LINEにてお知らせします。



私たちアップルツリープロジェクトは、多世代の交流の場

(居場所)の一つになることを目標に「こどもとおとな食堂」を中心とした様々な取り組みを行っている市民団体です。

メンバーの多くが子育て中の母親で、松本市を中心に活動しています！

申し込み・お問い合わせは

下記公式LINEにて



共催：松本地区更生保護女性会 笹賀地区

NPOホットライン信州(信州こども食堂ネットワーク)



apple tree.matsumoto@gmail.com

ママから広げる笑顔の輪

アップルツリープロジェクト「こどもとおとな食堂」

夏休みを楽しもう！

親子クッキング

おすすめ講座

第2弾



8月1日(木) 笹賀公民館

10:30 ~ 13:00 1階調理室・会議室

(10:15開場)

予約優先 (定員8組)

参加費 大人300円

こどもワンコイン

※7月28日(日)までにお申込みください

※エプロン・三角巾・手拭きタオル・マスクをご持参ください

もうすぐ夏休み。絵日記題材候補の1つとして、親子でクッキングを楽しみませんか？ 管理栄養士のスタッフからお料理の基本を習い、親子で本物の出汁の美味しさを感じてみましょう！

調理後は出来立て料理を囲んで、みんなでワイワイ試食します。

子ども服リユース会

10:30 ~ 12:30

新生児 ~ 160cm

幅広くご用意しております。

ご自由にお持ち帰りください。

※お持ち帰り用の袋をご持参ください



今後の予定 笹賀公民館で開催予定

9月10日(火) 11:00 ~ 13:00

親子クッキング 第2弾

予約優先 (定員8組)

参加費 大人300円

こどもワンコイン



10月7日(月) 10:45 ~ 13:00

ちびっこ運動会



私たちアップルツリープロジェクトは、多世代の交流の場（居場所）の一つになることを目標に「こどもとおとな食堂」を中心とした様々な取り組みを行っている市民団体です。
メンバーの多くが子育て中の母親で、松本市を中心に活動しています！

共催：NPOホットライン信州（信州こども食堂ネットワーク）

「のぞみみらい子ども・若者応援基金」の助成を受けて活動しております



申し込み・お問い合わせは

下記公式LINEにて



ママから広げる笑顔の輪

アップルツリープロジェクト「こどもとおとな食堂」

おすすめ講座

第3弾



親子でクッキング

9月10日(火)

笹賀公民館

予約優先 (定員8組)

参加費 大人 300円

10:30 ~ 13:00

1階調理室・会議室

こどもワンコイン

(10:15集合)

※9月6日(金)までにお申込みください

※エプロン・三角巾・手拭きタオル・マスクをご持参ください

夏休みに好評だった親子クッキングの第2弾!

親子で楽しく、お料理の基本を習ってみませんか?管理栄養士のスタッフが乾物や缶詰を活用したメニューをご紹介します予定です。

調理後は出来立て料理を囲んで、みんなでワイワイ試食しましょう。

子ども服 リユース会

10:30~12:30

新生児~160cm

幅広くご用意しております。

ご自由にお持ち帰りください。

※お持ち帰り用の袋をご持参ください



今後の予定 笹賀公民館で開催予定

10月7日(月) 10:45~13:00

ちびっこ運動会



11月18日(月) 11:00~13:00



信州ガレット振興会様 ご協力

ガレットカフェ

私たちアップルツリープロジェクトは、多世代の交流の場

(居場所)の一つになることを目標に「こどもとおとな食堂」を中心とした様々な取り組みを行っている市民団体です。

メンバーの多くが子育て中の母親で、松本市を中心に活動しています!

共催: NPOホットライン信州 (信州こども食堂ネットワーク)

「のぞみみらい子ども・若者応援基金」及び

「市民タイムスおもしろボックス」の助成を受けて活動しております

申し込み・お問い合わせは

下記公式LINEにて

↓↓↓



✉ appletree.matsumoto@gmail.com

ママから広げる笑顔の輪
アップルツリープロジェクト



ちびっこ運動会

10月7日(月)

10:45～11:30

(10:30 開場)

笹賀公民館 1階会議室

参加費 1家庭400円

(下記の会食交流会参加費込み)

※10月5日(金)までにお申込みください

スポーツの秋。毎年大好評の未就園児対象の運動会を今年も企画しました！
キッズ体操などの講師をしているスタッフが、楽しい種目をご準備します。
ぜひ親子で遊びに来てください。



子ども服 リユース会

10:30～12:30

新生児～160cm

幅広くご用意しております。

ご自由にお持ち帰りください。

※お持ち帰り用の袋をご持参ください



会食交流会

11:30～12:30 【予約優先・15組】

今年度より会食形式が復活できました！

アップルツリースタッフ特製の温かい食事を

囲み、みんなで雑談しませんか？

参加費：大人300円・子どもワンコイン

※SDGs・感染予防の観点から、お箸とお皿(容器)をご持参ください。

11月の予定

そばガレット カフェ

11月18日(月)

11:00～13:00 (予定)

笹賀公民館 (予定)

※決まり次第、公式LINEで告知します

今年も信州ガレット振興会様にご協力いただき「そばガレット」をご提供いただきます。焼きたてのガレットは絶品♡

※そばガレットの提供方法は詳細が決まり次第公式LINEでお知らせします。お楽しみに♪



イメージ写真

そば、乳製品、卵、豚肉などを使用予定です。今回はアレルギー対応ができませんので予めご承知おきください

私たちアップルツリープロジェクトは、多世代の交流の場(＝居場所)の一つになることを目標に「こどもとおとな食堂」を中心とした様々な取り組みを行っている市民団体です。メンバーの多くが子育て中の母親で、松本市を中心に活動しています！

共催：NPOホットライン信州(信州こども食堂ネットワーク)

「のぞみみらい子ども・若者応援基金」及び

「市民タイムスおもしろボックス」の助成を受けて活動しております

申し込み・お問い合わせは
下記公式LINEより



ママから広げる笑顔の輪

信州ガレット振興会様 と共同企画



来年のカレンダー作り そばガレット カフェ

を楽しもう♪

11月18日(月) 10:45 受付開始

笹賀公民館

11:00~13:00

1階会議室・料理室

カレンダー作り

11:00~12:00(最終受付)

材料代: 100円 限定20個

お子さんの写真や絵、手形足形などを使って
来年度のカレンダーを手作りしませんか?

台紙とカレンダー、
装飾できるキットを
こちらで準備します。
お子さんの写真や絵などを
ぜひご持参ください。
ご希望の方は、ラミネート
加工も可能です。



イメージ写真

子ども服 リユース会

10:45~13:00

新生児~160cm

幅広くご用意しております。
ご自由にお持ち帰りください。

※お持ち帰り用の袋をご持参ください



ガレットカフェ

焼き上がり次第~13:00

参加費: 大人400円

子どもワンコイン

限定20組

信州ガレット振興会様特製の
「そばガレット」をご準備致します!

コーヒーや紅茶などのドリンクも
ご準備してお待ちしています♪

焼きたてガレットとドリンクの
提供となります。足りない方は
各自ご持参ください。

そば、乳製品、卵、豚肉
などを使用予定です。今回は
アレルギー対応ができません
ので予めご承知おきください



イメージ写真

「のぞみみらい子ども・若者応援基金」及び「市民タイムス
おもいやりボックス」の助成を受けて活動しています。

協力 : 信州ガレット振興会

共催 : NPOホットライン信州

(信州こども食堂ネットワーク)

申し込み・お問い合わせは下記公式LINEにて

12月の予定



アップルツリークリスマス会

12月16日(月)

10:45~13:00

笹賀公民館(予定)



ママから広げる笑顔の輪

アップルツリープロジェクト presents



アップルツリークリスマス

12月16日(月)

笹賀公民館 1階会議室

10:45 ~ 11:30

参加費 1家庭400円

【プレゼント付・会食代込】

(10:30 開場)

※12月13日(金)までにお申込みください

アップルツリースタッフによる

パネルシアター&おはなし会

10:45~11:15 (途中入退室自由)

昨年大好評だったパネルシアター&大型絵本の
読み聞かせを今年もやります!お楽しみに♪



クリスマス仮装
大歓迎!

今年もサンタが
やって来るかも...



同時開催します

子ども服 リユース会

10:30~12:30

新生児~160cm

幅広くご用意しております。
ご自由にお持ち帰りください。

※お持ち帰り用の袋をご持参ください



会食交流会

11:30~12:30

アップルツリースタッフ特製の温かい食事を
囲み、みんなで雑談しませんか?

5月に引き続き、テンハウ様のご協力で
ギョーザも提供予定です。

※SDGs・感染予防の観点から、お箸とお皿(容器)を
ご持参ください。



1月の予定

1月20日(月)

10:30~13:00

笹賀公民館 1階調理室(予定)

バッククッキングを体験しよう!

予期せぬ災害に備え、「バッククッキング」という
耐熱性ポリ袋に材料・調味料を入れて湯せん調理する
調理法と一緒に学びましょう!

共催 : NPOホットライン信州
(信州子ども食堂ネットワーク)

申し込み・お問い合わせは

右記公式LINEにて

「のぞみみらい子ども・若者応援基金」及び「市民タイムスおもしろやりボックス」
の助成を受けて活動しています。



「のぞみみらい子ども・若者応援基金」活動報告書

令和7年4月2日

公益財団法人長野県みらい基金

高橋 潤 理事長 様

所在地 〒390-0311
松本市水汲 25-6
団体名 松本ホテル^{まなび}学会
代表者 代表・信州大学名誉教
職・氏名 授・藤山 静雄



「のぞみみらい子ども・若者応援基金」の助成事業が完了したため、下記のとおり報告します。

記

1 事業名

児童センターでの生物多様性に配慮した生き物観察会

2 助成対象事業の実施期間

令和6年6月29日 ～ 令和7年3月31日

3 実施した取り組み

(この事業で具体的に行ったこと、誰に・いつ・どこで・何をどのように行ったのか)

令和6年6月末から7年4月の申請期間中に7児童センターで生き物観察会を実施予定。秋迄に6センターで実施できました。冬季後の4月に1施設を予定していましたが、実施直前で4月にトップを含む職員が大幅に入れ替わり、「4月実施は無理」との返事で、6センター(以下児童センター名を「地名」で略称)での実施とでした。「筑摩」7月6日、ホテル観察会、6月29日及び10月22日、「内田」8月1日、「岡田」8月20日、「浅間」9月14日、「山辺」10月5日、「並柳」10月7日に実施しました。方法は、最初に会代表が学習会の概要を説明し、次に子供達と会講師2-3名及びセンター職員が野外に出て採集用具を用い1時間程度生き物を観察、採集。続いて採集した生き物を教室に持ち込み、30分、講師指導の下、生き物の種類調べ、その後、結果を班毎にとりまとめ各班代表が採れた種を参加した子供に見せながら紹介。この結果を受け、会代表が、採れた生き物の生態やその希少性、特徴等を解説。続いて、多様な生き物のいる自然のあることや生物多様性を守っていく事の大切さを分かり易く解説。最後に生き物を大切にするため、皆で元の所へ逃がしました。詳細は資料3,4参照。

4 得られた状態・成果

(この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたのか)

実施した児童センターでは子供達は今まで専門家による生き物観察や自然観察のための指導を受けたことがありません。それは児童センターには自然に関する専門家がいなかったためです。この学習会では子供達はセンターの校庭にこんなに多くの生き物がいることに気づいて、びっくりし、採れた生き物調べでは指導を受け熱心に学び、楽しく生き物観察ができました。これで、自然や生き物に親しみたいという潜在的な子供達のニーズにこたえられたと思います。今日、自然の生き物が激減し自然環境の保全が大変重要視されていますが、自然にかかわれない子供達が増えていて、小学生の3分の2以上が、生き物に関心がないだけでなく、食わず嫌いのように生き物嫌いが増えています。逆に、自然や生き物が好きな子は、学校では変わり者と扱われるおかしな現象が生じています。自然の事をよく知らない子供達が大人になったら、自然を大切にしようという思いはなく、自然環境の保全への関心は薄れる可能性が高いと危惧されます。この学習会開催は将来を担う子供達に生き物への関心を高め、豊かな自然環境があること、それを残すことが大切だと理解してもらうためにとても大切なと考えます。児童センター職員からも、自分達にはできない教育だと大変感謝されました。

5 基金設立者へのご報告（メッセージ）

今日、共働き家庭が半数を超え、放課後や週末を児童センターで過ごす子供が大変多くなっています。センター職員が自然教育ができないことから、そこに通っている子どもたちでは、自然とのかかわる機会が著しく減少しています。この基金のご支援を頂き学習会を開催させて頂いた結果、参加した子供達が、今まで経験のない生き物探しに興味を持ち、熱中する姿が多く見られ、彼らの喜ぶ姿が見られました。初め、生き物に関心のなかった子供達も、この学習会で生き物の不思議や面白さ、その大切さが分ってどんどんと生き物観察にはまっていけるのを感じました。これらを見た、センター職員も、彼らの笑顔にびっくりするほど驚いていました。こうした子供たちの姿を見て、今後もこうした学習会を実施してほしい、実施したいという児童センターも出てきています。センターの指導員は、現状では、子供達を遊ばせ、おやつをあげ、学校の宿題や課題実施を助けることで、手いっぱい子供達の視野を広げ、個性を伸ばす指導をするところまでは行けていない感じがします。この活動は、児童センターに、新しい風を吹き込むきっかけになったと感じます。地球の温暖化や生物多様性の減少により、将来の人がいろいろな面で大打撃を受けると危惧される中で、基金設立者が長期的な視野に立ち、生き物学習会による自然環境学習の活動にご理解を頂き、ご評価いただいたのは、広い視野と高いご見識をもってご判断いただいたと、心から御礼申し上げます。松本ホテル学会 2024 年度活動報告書を添付しますので参考にご覧ください。

6 事業の実施状況を示す書類（別添）

- (1) 収支計算書（様式5）
- (2) 収支計算書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

2024 年度「のぞみみらい子ども・若者応援基金」の助成による 松本市内児童センターにおける「生き物観察会」の実施結果報告

松本ホタル^{まなぶ}学会 藤山 静雄

松本ホタル^{まなぶ}学会は、長野県未来基金の表記支援金を受けて 2024 年 7 月から 2025 年 4 月にかけて松本市内の 7 児童センターにおいて行なう予定ですが、現報告書記載を時点で 6 児童センターでの生き物学習会を実施しました。

そこで、申請書にある 7 児童センターのうち、2024 年末の時点で実施できました松本市内の 6 児童センターすなわち、筑摩児童センター、内田児童センター、岡田児童センター、浅間児童センター、山辺児童センター、並柳児童センターにおける生き物学習会の結果について以下、ご報告致します。

まず、実施したすべての児童センターにおいて、子どもたちが大変喜び、対応して頂いたセンター職員からは、センターでは実施できない内容の事業で、子どもたちは大変喜んでいる、と心からの感謝と、お礼の言葉をいただきました。以下、実施日順に各児童センターでの結果の概要を記載いたします。なお、すべての会場で採集された生き物は終了後に逃がしました

- 1、6 月 29 日、松本ホタル学会代表藤山が、筑摩児童センターにおいて、「ホタルの生態とホタルも棲める良い自然」と題して児童センターの 1-4 年生の児童 30 名を対象に講演会を開催しました。これでは、同センターのすぐ近くで 7 月 6 日に実施される、本会と「庄内ほたると水辺の会」が共同開催する「庄内ほたる水路のホタル観察会」のことを紹介しました。次の写真は児童センターの子どもたちも参加して行われた「庄内ほたる観察会」の 7 月 6 日の夕方、観察会の前座として行われたほたるの紙芝居の様子です。筑摩児童センターの子どもたちを中心に多くの子どもが参加しました。会全体で親子連れを中心に 130 名の参加者があり大盛況でした。



写真 1（左）会員が上映する紙芝居を見る子どもたち。写真 2（右）「ホタルの生態とホタルも棲める良い自然」の講演を聞く子どもたちとその保護者達。

2, 8月1日、内田児童センターの子どもたちを対象に9時から11時半迄、会員3名の指導で、生き物観察会を開催しました。参加者は35名と大変盛況でした。教室で観察会の説明をした後、内田地区を流れる塩沢川にて水生生物の生き物観察を行いました。川にはサワガニ、トノサマガエル、カワニナ、ヤゴ、カゲロウ、等がいて子どもたちは大はしゃぎで採集しました。ここで採れた生き物を教室に持ち帰り、会員の指導の下、種類調べをしました。結果を代表者に発表してもらいました。この結果を基に、藤山が川でとれた生き物の特徴と、その生息環境や自然の良さについて説明と解説を行いました。様子を写真3-5に示します。



写真3（左）教室で説明を聞く子どもたち。写真4（中）川で生き物を採集する様子。写真5（右）教室で、会員の指導を受けながら種類調べをする子どもたち。

3, 8月20日（火）、午後2時から4時まで、岡田児童センターにて会員3名の参加の下で、陸上の生き物観察会を行いました。参加者は20名と人数が多かったので、3つの班に分かれて実施しました。

児童センターの敷地内および隣接する岡田小学校の校庭にて、生き物観察するとともに生き物採集を行いました。ここでは、オニヤンマ、シオカラトンボ、モンキチョウ、ツマグロヒョウモンなどが採れました。オニヤンマが採れた時には子どもたちは大きな歓声を上げました。採集の後、児童センターの教室で会員の指導の下、とれた生き物の種類調べをしました。その後、とれた虫たちの種類の結果を、3つの班の代表者に発表してもらいました。その後、代表の藤山が採れた生き物の解説と、児童センター周辺の環境を生き物から見て解説しました。今回は会員3名がいずれも、採集の指導をしていたため写真は撮れませんでした。センター職員からは厚いお礼の言葉を頂きました。

4, 9月14日（土）、9時半-11時半まで浅間児童センターにて会員3名の指導の下、生き物観察会を行いました。学校行事と重なったため、参加者は12名とやや少ない人数でした。一部の生徒は陸上の生き物、別の一部の生徒は児童センター北側の水路の水生の生き物を採集しました。室内にもどり採集したものの名前調べをしました。陸上ではナツアカネ、ツユムシ、エンマコオロギ、モンキチョウ、ヤマトシジミ等、水生ではカワニナ、トビケラ、ミズムシ、ヤゴ類、などが採れ、それらを見て子どもたち、児童センターの職員は大変びっくりしました。また、職員からセンターではできない教育だと大きな感謝の言葉を頂きました（写真6-9）。



写真6 (左) 観察会前の職員、児童への教室での説明。写真7 (左2) 採集の仕方の説明を聞く児童。写真8 (左3) 採集する講師と児童。写真9 (右) 女の子たち熱心に昆虫採集。

5、10月5日、午前9時半より11時まで山辺児童センターにて会員3名参加の下、生き物観察会を実施させていただきました。センターには写真10のように観察会の掲示がされました。地域行事とも重なり、参加者は13名とやや少なかったですが、参加者は写真11、12のように皆熱心に生き物観察、とれた生き物の観察をした。



写真10 学習会を示す掲示板。写真11 センターの庭で生き物を採集する子どもたち。写真12 (右) 採集された生き物を教室で観察、種類調べする子どもたち。

6、10月7日(月)午後2時から4時まで、並柳児童センターにて会員4名の指導の下、陸上及び、水生の生き物観察会が実施されました。この日は運動会の代休日とすることで参加者は25名と多く、並柳小学校との境にある池及び水路、および学校の樹木、草地の生き物採集をしました。3名のセンター職員も加わり、採集されるたびに大きな歓声が上がり、時間いっぱい、子どもたちは、生き物採集、生き物調べに熱中し、大変盛況でした。



写真13 講堂で本会代表の説明を受ける子どもたち。写真14 陸上の生き物を探す子どもたち。写真15 水路にて水生の生き物を探す子どもたち。

7、松本の生き物季節としてはかなり遅くなりましたが、10月22日、午後2時より午後4時まで、筑摩児童センターにて本会会員3名が参加し、生き物観察会を実施しました。参加者は多

く、22名でした。児童センターの庭は丁度草刈りをし、後片付けの清掃を実施した直後で生き物がみあたらないため、急遽、隣接する筑摩小学校に連絡し、学校の許可を得て、公邸にて生き物採集をさせてもらうことになりました。写16にありますように近くの筑摩小へは皆で列になって歩いていました。筑摩小学校の緑豊かな校庭で生き物観察を行ないました。そこには多数の生き物がいて、アキアカネ、ツマグロヒョウモン、モンキチョウ、ヤマトシジミなどのチョウに加え、シオカラトンボ、アキアカネ、オツネントンボなどのトンボ類ハラビロカマキリ、ショウリョウバッタ、エンマコオロギ、ツユムシ、などのバッタ類が採集されました。大物の虫たちが採れると、子どもたちや付き添いのセンター職員も歓声を上げていました。

なお、この時期は松本の平年では、気温が低く生き物の活動が少なくなる時期ですが、この年は温暖化による異常高温が続いた年でしたので、多くの生き物の活動が見られました。



写真16 児童センターから採集場所の筑摩小学校に向かって歩く参加者。写真17 筑摩小学校内で夢中で生き物を採集する子どもたち。写真18 捕まえた生き物を指導員が観察用ボックスに入れるのを見る子どもたち。



写真19（左）教室に戻り、採れた虫たちの入ったケースを観察する子どもたち。写真20（中）採れた虫を記録する子どもたち。写真21 採れた生き物についての解説を聞く子どもたち。

以上の結果のように、各児童センターの子どもたちはいずれも「生き物観察」に強い関心を示し、生き物採集に熱中し楽しい時間を過ごしました。また、とれた生き物がどんな種類なのか、熱心に調べました。児童センターや小学校の敷地に予想外に、多くの種類の生き物がいることが分かり皆感動していました。最後に代表が市内にはまだ身近にいろいろな生き物が見られますが、それらも徐々に減少傾向にあること。だから、皆に楽しさをくれる生き物たちが今後もずっと生き残っていけるよう、身近な自然に目を向けてゆこうと訴えました。児童センター職員の皆さまからは、子どもたちの大変喜ぶ姿を見て観察会の実施に対して感謝の意が述べられました。

以上のように生き物観察会実施は大変有意義でした。ご支援に、心からお礼を申し上げます。

追加写真

10月5日

山辺児童センターにて

写真

山辺児童センターで代表による

説明風景

山辺児童センターで、採れた

生き物の観察風景。



10月7日並柳児童センターにて

並柳小学校の水路で生き物を探す

並柳児童センターの児童



並柳小学校の池で生き物を探す

並柳児童センターの児童



双柳児童センター教室で捕まえた生き物を

観察する子供達と、説明する講師たち。



「のぞみみらい子ども・若者応援基金」活動報告書

2025年 4月18日

公益財団法人長野県みらい基金

高橋 潤 理事長 様

所在地 〒390-0872
松本市北深志 3-9-6-312

団体名 NPO LINKS

代表者 代表・羽二生 久夫
職・氏名



「のぞみみらい子ども・若者応援基金」の助成事業が完了したため、下記のとおり報告します。

記

1 事業名

NPO LINKS 卓球奨励制度

2 助成対象事業の実施期間

2024年 7月 1日 ～ 2025年 3月 31日

3 実施した取り組み

(この事業で具体的に行ったこと、誰に・いつ・どこで・何をどのように行ったのか)

奨励制度を保護者に案内したところ、2名の保護者から応募がありました。1名は2年生、1名は1年生です。7月2日にまずユニフォーム(上下)を他の生徒と一緒に購入しました。また、9月7日には2名のラケットと消耗品となるラバーやメンテナンス用具を購入しました。そして、9月21、22日の二日間で行われた大会にチームメンバーとともに参加し、宿泊の時間も楽しくチームメイトと過ごして充実した時間を過ごしていました。

会計には載せていませんが、これ以外にも昨年の7月以降、この2名のうちどちらかが参加した大会は団体戦・個人戦併せて15大会に参加しました(自団体が参加した大会は下記でご確認いただけますし、参考資料として添付します)。

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1HgqoHA9DcAFnQ3odbxL5tIHEf_ujVSZBUdEzHfhLt2Q/edit?gid=1609118171#gid=1609118171

(様式4)

4 得られた状態・成果

(この事業で具体的に実現した状態、誰がどのような助けを得られたのか)

2年生の生徒はこれまで一部の道具をすべてクラブから「借りて」使っており、参加費の徴収時もどこか居場所がなさげでした。この基金により、そのような「引け目」を感じることなく活動していたと思います。そして、この生徒は現在部長となり、チーム全体をまとめる役割を担うようになりました。1年生の生徒も多くの大大会に参加し、1年生でありながら中体連の新人戦の市中大会でベスト32に入り、中信大会に参加しました。今年5月にある中日本大会予選会で県の代表になれるのではないかと期待しています。

経済的な問題はどこかその生徒が他の生徒に引け目を感じさせる原因となり、受け身になりがちな生徒になってしまいます。しかし、そのような経済的不安を感じさせずに済んだことも影響して、その生徒本来の性格で活動し、同級生とだけでなく、先輩や後輩とも対等な立場で個性を発揮できるようになりました。

5 基金設立者へのご報告（メッセージ）

本基金だけですべてをまかなうことができたわけではありませんが、この基金をもらえたことで、会員の皆様の中で匿名性を担保しながら、子ども達にお金の心配をさせずに自分の道具で出たい大会に参加させてあげることができました。

そして、本団体には今年度、日本パラ卓球協会に「次世代育成選手」に選ばれ、2028年のロスパラ五輪を目指している高校1年生の生徒がいます。この生徒の練習相手、そして、団体チームメンバーとしてこの2名が協力を申し出てくれました。

お互いが助け合ってみんながそれぞれの幸せを感じることができる団体への第一歩となりました。上記活動も是非、今年度、サポートしていただけるとありがたいと思っています。

なお、添付した活動実施風景写真の他にもその生徒2名が参加した大会の様子は下記のInstagramで見ていただくことができます。是非、見ていただければと思います。

<https://www.instagram.com/links.814/>

6 事業の実施状況を示す書類（別添）

(1) 収支計算書（様式5）

(2) 収支計算書の証拠書類（領収書の写し等）

(3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）

(4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）





令和6年度 LINKS参加予定大会

大会日	大会名	会場	その他
4月14日(日)	第7回塩尻杯卓球選手権大会	ユメックスアリーナ	男女各1チーム参加
4月20日(土)	国体(少年の部) 中信予選会	ユメックスアリーナ	高体連主管, 中学生4名参加
4月27日(土)	国体(少年の部) 県予選会	茅野市運動公園総合体育館	高体連主管, 中学生1名参加
4月28・29日(日・月)	第67回松本市市民スポーツ大会 春季大会(卓球競技)	松本市総合体育館	一般男子2名、小・中学生男子10名、中学生女子4名参加
5月6日(月・祝)	県選手権個人	ホワイトリング	男子4名、女子3名参加
5月11日(土)	塩尻ジュニア卓球選手権大会	ユメックスアリーナ	男子6名、女子4名参加
5月18・19日(土・日)	GO TO7ワード マッチ春	須坂市民体育館	男女各1チーム参加
5月19・20日(日・月)	中信総合体育大会 卓球の部	堀金総合体育館	高体連主管
6月1日(土)	プチフレンドリーマッチ春	須坂市民体育館	男女各1チーム参加
5月30日-6月1日(木-土)	県総合体育大会 卓球の部	佐久市総合体育館	高体連主管
6月8日(土)	中部日本(ジュニアの部) 県予選会		高体連主管
6月9日(日)	中信中学校体育大会夏季大会 松本会場 卓球の部(団体)	ANCアリーナ	中体連主管
6月16日(日)	中信中学校体育大会夏季大会 松本会場 卓球の部(個人)	ユメックスアリーナ	中体連主管
6月23日(土)	前期中信選抜交流大会	塩尻市立体育館	男女各1チーム参加
6月29・30日(土・日)	中信中学校体育大会夏季大会 卓球の部	ANCアリーナ 穂高総合体育館	中体連主管
7月6日(土)	たくせん卓球交流会	長野運動公園体育館	男子2名参加
7月7日(日)	第3回塩尻ジュニア大会(団体)	ユメックスアリーナ	男女各1チーム参加
7月13・14日(土・日)	長野県中学校体育大会夏季大会 卓球の部	ANCアリーナ 穂高総合体育館	中体連主管
7月14日(日)	第6回松本小学生卓球大会	南部体育館	男子3名参加
8月7日(水)	県知事杯争奪中学卓球大会	ANCアリーナ	男子9名、女子4名参加
8月12日(月)	第46回アルプスオープン 卓球選手権大会	ユメックスアリーナ	男子5名参加
8月17日(土)	中信カデット個人	穂高総合体育館	男子7名、女子2名参加
8月24日(土)	全日本(ジュニアの部) 中信予選	堀金総合体育館	高体連主管/2名参加
8月25日(日)	第11回ニッタク杯安曇野オープン 卓球大会(団体)	ANCアリーナ	男女各1チーム参加
9月7日(土)	全日本(ジュニアの部) 県予選	佐久市総合体育館	高体連主管
9月8日(日)	県カデットシングルス	ANCアリーナ	男子2名参加
9月15日(日)	県知事杯争奪卓球大会団体	穂高総合体育館	女子1チーム参加
9月21, 22日(土、日)	GO TO7ワード マッチ秋	須坂市民体育館	男女各1チーム参加
10月3・4日(木・金)	中信新人体育大会 卓球の部	穂高総合体育館	高体連主管
10月13, 14日(日、月)	中信中学校体育大会新人大会 松本会場 卓球の部	穂高総合体育館	中体連主管
10月20日(日)	ジュニア安曇野卓球選手権大会	穂高総合体育館	男子1名参加
11月4日(月)	中信中学校体育大会新人大会 卓球の部	ANCアリーナ	中体連主管
11月8-10日(金-日)	県新人体育大会 卓球の部	ユメックスアリーナ	高体連主管
11月16日(土)	中信中学校体育大会新人大会 卓球の部	ユメックスアリーナ	中体連主管
11月17日(日)	第13回 ニッタク杯ダブルスチーム・オープン卓球大会	ロジテックアリーナ	男女各1チーム参加
11月23日(土)	第32回中信会長杯ジュニア卓球大会	ユメックスアリーナ	男女各1チーム参加
11月30日(土)	2024 須坂チームカップ卓球大会	須坂市民体育館	男女各1チーム参加
11月30日(土)	県ジュニア卓球選手権大会	ユメックスアリーナ	高体連主管(男子1名参加)
12月8日(日)	第33回松本卓球連盟会長杯争奪 卓球選手権大会	ユメックスアリーナ	男子16名、女子3名参加
12月22日(日)	長野県中学校体育大会新人大会 卓球の部	岡谷市民総合体育館	中体連主管
1月19日(日)	第31回ジュニア安曇野卓球選手権	ANCアリーナ	男子4名、女子2名参加
2月1, 2日(土、日)	テレビ松本カップ 第36回卓球選手権大会	ユメックスアリーナ	個人: 男子4名、女子2名参加 団体: カデット女子1チーム
2月11日(火・祝)	県卓球連盟杯	穂高総合体育館	男子2チーム、女子1チーム参加
3月9日(日)	中信地区高校冬季大会	ユメックスアリーナ	高体連主管
3月9日(日)	安曇野市長杯個人	穂高総合体育館	男子8名参加
3月16日(日)	第52回全松本卓球選手権大会	ユメックスアリーナ	男子2チーム、女子1チーム参加
	クラブ交流会		不参加
3月22日(土)	バタフライ・チームカップ長野大会	南長野運動公園体育館	男女各1チーム参加
3月30日(日)	第14回乗鞍杯オープン卓球大会	飛騨高山ビッグアリーナ	女子1チーム参加

中体連・高体連主管の大会は学校単位で参加する大会です。